

#2

Docket No. 1405.1038

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:)
Ryuichi MATSUKURA, et al.)
Serial No.: To be Assigned) Group Art Unit: To be Assigned
Filed: March 16, 2001) Examiner: To be Assigned

1c903 U.S. PTO
09/809110
03/16/01

For: **PRODUCT INFORMATION NOTIFICATION METHOD AND PRODUCT
INFORMATION NOTIFICATION SYSTEM**

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

*Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231*

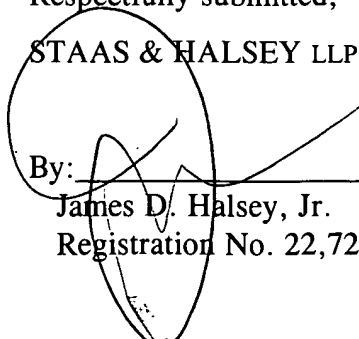
Sir:

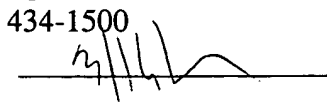
In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant(s) submit(s)
herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2000-355269
Filed: November 22, 2000

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing
date as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements
of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,
STAAS & HALSEY LLP

By: 
James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500
Date: 

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JC903 U.S. PTO
09/809110
03/16/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年11月22日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-355269

出 願 人

Applicant(s):

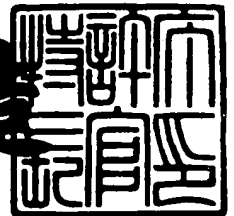
富士通株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 2月 2日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3003447

【書類名】 特許願

【整理番号】 0095261

【提出日】 平成12年11月22日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明の名称】 商品情報通知方法および商品情報通知システム

【請求項の数】 5

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 松倉 隆一

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 松本 達郎

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 眞鍋 愛

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 佐々木 和雄

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100094145

【弁理士】

【氏名又は名称】 小野 由己男

【連絡先】 0 6 - 6 3 1 6 - 5 5 3 3

【選任した代理人】

【識別番号】 100094167

【弁理士】

【氏名又は名称】 宮川 良夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100106367

【弁理士】

【氏名又は名称】 稲積 朋子

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 020905

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9807456

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 商品情報通知方法および商品情報通知システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各商品の基本情報を参照しようとしているユーザのプロフィール情報を取得し

前記各商品の基本情報を格納する商品情報データベースから前記ユーザが参照しようとしている商品群の基本情報を選択して前記ユーザに提供するとともに、

前記各商品の付加情報を格納する付加情報データベースから、前記商品群中の商品について前記ユーザのプロフィール情報に対応する付加情報を選択して前記ユーザに提供する商品情報通知方法。

【請求項 2】

各商品の基本情報を参照しようとしているユーザのプロフィール情報を取得するプロフィール情報取得手段と、

前記各商品の基本情報を格納する商品情報データベースと、

前記商品情報データベース中から前記ユーザが参照しようとしている商品群の基本情報を提供する商品情報提供手段と、

前記各商品の付加情報を格納する付加情報データベースと、

前記プロフィール情報取得手段で取得したプロフィール情報に基づいて前記付加情報データベース中の対応する付加情報を選択する表示条件処理手段と、

前記表示条件処理手段で選択した付加情報を前記ユーザに提供する付加情報提供手段と、

を備える商品情報通知システム。

【請求項 3】

前記商品情報データベースを管理するとともに、WWWブラウザを有するユーザ端末に対して情報を提供するWWWサーバを備える商品情報管理サーバを有し、前記WWWサーバが前記商品情報提供手段および付加情報提供手段を構成する、請求項 2 に記載の商品情報通知システム。

【請求項 4】

前記商品管理サーバと接続される付加情報管理サーバが前記付加情報データベースを管理するとともに前記表示条件処理手段を含む、請求項 2 または 3 に記載の商品情報通知システム。

【請求項 5】

前記商品情報提供手段および付加情報提供手段は、前記ユーザ端末の WWW ブラウザ上で動作する端末連携部を含む、請求項 2 ～ 4 のいずれかに記載の商品情報通知システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、商品情報を参照しようとする各ユーザに対して、効果的なプレゼンテーションを可能とする商品情報通知方法および商品情報通知システムを提供する。

【0002】

【従来の技術】

店舗における商品販売では、季節の変わり目において展示商品を入れ替えた場合や新製品を入荷した際には、商品を展示している棚にタグをつけることで、客の目につきやすいようにする場合が多い。

【0003】

インターネットを通じて商品販売を行うオンラインショッピングにおいても、商品一覧を表示する一覧画面上に、新製品や割引率などを表示するタグを設けることが行われている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

店舗に展示されている商品にタグをつける場合であっても、オンラインショッピングで表示される商品にタグ表示を行う場合であっても、その商品の付加情報を表示することはできるが、その商品の情報を参照しようとしているユーザの条件に拘わらず、同じ情報を表示している。

【0005】

このようなタグに表示されている商品の付加情報が、その商品の情報を参照しようとしているユーザのプロフィール情報に基づいて変化させることができれば、各ユーザに応じた必要な情報を提供することが可能となり、ユーザがこの付加情報を利用することで商品への誤解をなくすことができ、有利な条件での買い物が可能となる。商品を販売する側にとっては、各ユーザのプロフィール情報に応じた効果的なプレゼンテーションが可能となり、売上の増加を期待することができる。

【 0 0 0 6 】

本発明は、商品の付加情報をユーザ毎に変化させて効果的なプレゼンテーションを行うことを可能とした商品情報通知方法および商品情報通知システムの提供を目的とする。

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

本発明に係る商品情報通知方法は、各商品の基本情報を参照しようとしているユーザのプロフィール情報を取得し、各商品の基本情報を格納する商品情報データベースからユーザが参照しようとしている商品群の基本情報を選択してユーザに提供するとともに、各商品の付加情報を格納する付加情報データベースから、商品群中の商品についてユーザのプロフィール情報に対応する付加情報を選択してユーザに提供する。

【 0 0 0 8 】

本発明に係る商品情報通知システムは、各商品の基本情報を参照しようとしているユーザのプロフィール情報を取得するプロフィール情報取得手段と、各商品の基本情報を格納する商品情報データベースと、商品情報データベース中からユーザが参照しようとしている商品群の基本情報を提供する商品情報提供手段と、各商品の付加情報を格納する付加情報データベースと、プロフィール情報取得手段で取得したプロフィール情報に基づいて付加情報データベース中の対応する付加情報を選択する表示条件処理手段と、表示条件処理手段で選択した付加情報をユーザに提供する付加情報提供手段とを備えている。

【 0 0 0 9 】

ここで、商品情報データベースを管理するとともに、WWWブラウザを有するユーザ端末に対して情報を提供するWWWサーバを備える商品情報管理サーバを有し、WWWサーバが商品情報提供手段および付加情報提供手段を構成するよう
にできる。

【 0 0 1 0 】

また、商品管理サーバと接続される付加情報管理サーバが付加情報データベースを管理するとともに表示条件処理手段を含む構成とすることができる。

さらに、商品情報提供手段および付加情報提供手段は、ユーザ端末のWWWブラウザ上で動作する端末連携部を含む構成とすることができる。

【 0 0 1 1 】

【発明の実施の形態】

〔発明の概要〕

本発明の概要構成を図1に基づいて説明する。

【 0 0 1 2 】

商品情報データベース1は、商品名、サイズ、色、メーカー名などを含む各商品の基本情報を格納している。商品情報提供手段2は、商品情報データベース1内に格納されている各商品の基本情報から、ユーザが参照しようとしている商品群の基本情報を提供するものである。

【 0 0 1 3 】

付加情報データベース3は、各商品の付加情報をユーザのプロフィール毎に区分して格納するものであり、例えば、新製品である旨、特定のユーザに対しての推奨品である旨、在庫数が少ない旨、割引率、これら情報の表示方法などを格納する。

【 0 0 1 4 】

プロフィール情報取得手段4は、ユーザのプロフィール情報を取得するものであり、商品情報を参照しようとしているユーザのプロフィール情報をプロフィールデータベースから取得するように構成される。

【 0 0 1 5 】

表示条件処理手段5は、プロフィール情報取得手段4によって取得したユーザ

のプロフィール情報に基づいて付加情報データベース 3 内の付加情報を選択する。

【 0 0 1 6 】

付加情報提供手段 6 は、表示条件処理手段 5 によって選択された付加情報をユーザ側に提供するものである。

プロフィール情報取得手段 4 は、プロフィール情報を格納するユーザ端末またはプロフィールデータベースから商品情報を参照しようとしているユーザのプロフィール情報を取得する。ユーザが参照しようとしている商品の基本情報は、商品情報データベース 1 から適宜選択されて商品情報提供手段 2 によりユーザに提供される。表示条件処理手段 5 は、プロフィール情報取得手段 4 が取得したユーザのプロフィール情報に基づいて、付加情報データベース 3 内の付加情報を選択し、付加情報提供手段 6 を介してユーザに付加情報を提供する。

【 0 0 1 7 】

商品情報提供手段 2 および付加情報提供手段 6 は、商品を展示している店舗内の商品の近傍に設置された表示手段で構成することが可能である。また、ユーザが携帯しているユーザ端末に設けられる表示手段を用いて商品の基本情報や付加情報を表示させるような構成にすることも可能である。

【 0 0 1 8 】

インターネット上におけるオンラインショッピングのウェブサイトを構成し、ユーザ端末との間でインターネットでのデータの送受信を行って、各商品の基本情報や付加情報を提供する構成とすることも可能である。この場合、商品情報データベースを管理する商品情報管理サーバ側に WWW ウェブサーバを搭載し、ユーザ端末側に搭載された WWW ブラウザに対して各種情報の提供を行うように構成できる。

【 0 0 1 9 】

また、ユーザ端末側でプロフィール情報を管理しておき、ユーザが商品情報管理サーバにアクセスする毎にプロフィール情報を送信するように構成することができる。また、商品情報管理サーバ側でプロフィール情報を管理する形態や商品情報管理サーバ以外の顧客管理サーバでプロフィール情報を管理する形態などが

考えられる。

【 0 0 2 0 】

商品情報管理サーバにより付加情報データベースを管理する形態や商品情報管理サーバ以外の付加情報管理サーバが付加情報データベースを管理する形態が考えられる。

【 0 0 2 1 】

このような各種の実施形態について以下に詳述する。

〔第 1 実施形態〕

本発明に係る商品情報通知システムを、実際の商品を展示している店舗に適用した場合を第 1 実施形態として図 2 に示す。

【 0 0 2 2 】

店舗内には各種商品情報を管理するための商品情報管理サーバ 1 0 0 と、商品情報管理サーバ 1 0 0 と接続され商品情報管理サーバ 1 0 0 から送信されてくる各種商品情報を表示するための商品情報表示部 3 0 0 とを備えている。商品情報表示部 3 0 0 は、無線通信手段（図示せず）を備えており、ユーザが携行するユーザ端末 2 0 0 からのプロフィール情報を受信することが可能となっている。

【 0 0 2 3 】

商品情報管理サーバ 1 0 0 は、商品情報データベース 1 0 1 と付加情報データベース 1 0 2 とを管理している。商品情報データベース 1 0 1 は、上述したように、商品名、サイズ、色、メーカー名などを含む各商品の基本情報を格納している。この商品情報データベース 1 0 1 内の基本情報は、データ入出力部 1 0 3 を介して商品情報表示部 3 0 0 に送信される。

【 0 0 2 4 】

付加情報データベース 1 0 2 は、ユーザのプロフィール情報に対応する付加情報を格納しており、たとえば、ユーザの性別、年代、職業などに応じて異なる表示情報を備える構成とすることができる。

【 0 0 2 5 】

商品情報管理サーバ 1 0 0 は表示条件処理部 1 0 4 を備えている。この表示条件処理部 1 0 4 は、データ入出力部 1 0 3 からユーザのプロフィール情報を受け

取り、付加情報データベース 1 0 2 内に格納されている付加情報からそのプロフィール情報に対応する付加情報を選択し、データ入出力部 1 0 3 に送出する。

【 0 0 2 6 】

データ入出力部 1 0 3 は、商品情報データベース 1 0 1 に格納されている各商品の基本情報を商品情報表示部 3 0 0 に送信して基本情報表示部 3 0 1 に表示させる。また、データ入出力部 1 0 3 は、商品情報表示部 3 0 0 からユーザのプロフィール情報を受信し表示条件処理部 1 0 4 に送出するとともに、表示条件処理部 1 0 4 からユーザのプロフィール情報に対応する付加情報を受け取り、この付加情報を商品情報表示部 3 0 0 に送信して付加情報表示部 3 0 2 に表示させる。

【 0 0 2 7 】

商品情報表示部 3 0 0 は、展示されている商品の近傍に設置される液晶表示装置や C R T ディスプレイ、その他の表示装置で構成することができる。商品情報表示部 3 0 0 は、商品の基本情報を表示するための基本情報表示部 3 0 1 と付加情報を表示するための付加情報表示部 3 0 2 とを備えており、1つの表示装置の表示画面を分割して基本情報表示部 3 0 1 と付加情報表示部 3 0 2 とを構成することが可能であり、それぞれ異なる表示装置で構成することも可能であり、単一の表示装置で表示の切替を行うことにより基本情報表示部 3 0 1 と付加情報表示部 3 0 2 とを構成することも可能である。

【 0 0 2 8 】

商品表示部 3 0 0 は、図示しない無線通信手段を備えており、ユーザが携帯するユーザ端末 2 0 0 から送信されるプロフィール情報を受信することが可能となっている。

【 0 0 2 9 】

ユーザ端末 2 0 0 は、P D A (Personal Digital Assistants) と呼ばれる携帯型情報端末や携帯電話を採用することが可能であり、EEPROMや電池によりバックアップされたRAMなどのメモリで構成されるプロフィール情報格納部 2 0 1 と、商品情報表示部 3 0 0 にデータの送信が可能な無線送信部（図示せず）とを備えている。ユーザ端末 2 0 0 のプロフィール情報格納部 2 0 1 には、たとえば、性別、年齢、職業、家族構成、趣味、その他ユーザのプロフィール情報がユーザ

により適宜入力されて格納されている。

【0030】

ユーザ端末200として、店舗が顧客に個別に発行するポイントカードなどの会員カードに発信機能を持たせたものを利用することも可能である。この場合、会員カードのメモリに顧客のプロフィール情報を記憶させておき、発信機能により付加情報表示部302にプロフィール情報を送信するように構成できる。

【0031】

商品情報表示部300は、店舗内に展示されている商品毎に設けられており、たとえば、図3に示すように、商品A、商品B、商品Cのそれぞれについて商品情報表示部300a、300b、300cを設置することができる。この場合、各商品情報表示部300a、300b、300cにそれぞれ付加情報表示部302a、302b、302cと無線通信手段を備える構成とする。ユーザが携行しているユーザ端末200からはプロフィール情報格納部201に格納されているプロフィール情報が無線送信されており、ユーザが商品の前に立つと商品情報表示部300の無線通信手段によりこのプロフィール情報が受信される。

【0032】

商品情報表示部300で受信されたプロフィール情報は、商品情報管理サーバ100のデータ入出力部103を介して表示条件処理部104に送信される。表示条件処理部104では、取得したプロフィール情報に基づいて付加情報データベース102内から付加情報を選択し、データ入出力部103を介して商品情報表示部300の付加情報表示部302に表示させる。

【0033】

図3に示すような構成とした場合、付加情報データベース102内に格納される付加情報を、図4のテーブルで示すような表示条件とすることができる。

ここでは、商品A、商品B、商品Cのそれぞれについて、おすすめ条件1、おすすめ条件2、おすすめ条件3を設定しておき、その商品の情報を参照しようとしているユーザのプロフィール情報が各おすすめ条件と合致した場合に、「おすすめ」表示を行うように構成される。たとえば、商品Aの前に立ったユーザのプロフィール情報が、年齢：10～19、職業：学生、性別：女性の条件に合致す

る場合には、商品情報管理サーバ 1 0 0 から「おすすめ」表示を行う旨の指示信号を送信する。このことにより、商品 A の近傍に設置されている商品情報表示部 3 0 0 a は、その付加情報表示部 3 0 2 a に「おすすめ」の文字を表示する。同様にして、商品 B の場合にはユーザのプロフィール情報が、性別：女性、職業：事務の条件に合致していれば「おすすめ」表示を行い、商品 C の場合にはユーザのプロフィール情報が、年齢：2 0 ～ 2 9、職業：営業、性別：女性の条件に合致していれば「おすすめ」表示を行う。ここで、「おすすめ」表示を行うに年齢、性別、職業を判別条件としており、ユーザ端末 2 0 0 のプロフィール情報格納部 2 0 1 に格納されているプロフィール情報を、これに対応して図 5 に示すようなテーブルで構成することができる。

【 0 0 3 4 】

このような構成とすることにより、各ユーザのプロフィール情報に対応した付加情報の表示を行うことが可能となり、ユーザが容易に商品の選択を行うことができる。また、店員が対応しなくてもユーザに付加情報を効果的に伝えることができる。

【 0 0 3 5 】

〔第 2 実施形態〕

第 1 実施形態における商品情報表示部 3 0 0 を除去し、その代わりとしてユーザ端末 2 0 0 に商品情報表示部 2 0 2 を設ける構成とすることができる。この第 2 実施形態の構成を図 6 に示す。

【 0 0 3 6 】

図 6 に示すように、商品情報管理サーバ 1 0 0 は第 1 実施形態の場合の商品情報管理サーバ 1 0 0 と略同様の構成である。第 1 実施形態と異なる点は、データ入出力部 1 0 3 が、各商品の近傍に設けられたデータ送受信部 3 0 3 と接続されていることである、データ送受信部 3 0 3 は、ユーザ端末 2 0 0 側から送信されるプロフィール情報を受信し、各商品の基本情報や付加情報をユーザ端末 2 0 0 側に送信する。

【 0 0 3 7 】

ユーザ端末 2 0 0 には、各種メモリで構成されるプロフィール情報格納部 2 0

1 と、商品情報管理サーバ 1 0 0 のデータ送受信部 3 0 3 との間でデータの送受信が可能な無線送受信部 2 0 5 とを備えている。

【 0 0 3 8 】

ユーザ端末 2 0 0 の商品情報表示部 2 0 2 には、基本情報表示部 2 0 3 と付加情報表示部 2 0 4 とを備えている。この商品情報表示部 2 0 2 は、液晶表示装置や LED などによって構成することが可能であり、1 つの表示装置の表示画面を基本情報表示部 2 0 3 と付加情報表示部 2 0 4 とに分割した構成、それぞれ異なる表示装置による構成、単一の表示装置で表示の切替を行う構成とすることが可能である。

【 0 0 3 9 】

この第 2 実施形態では、第 1 実施形態と同様にして、ユーザ端末 2 0 0 の無線送受信部 2 0 5 から送信されるユーザのプロフィール情報を、データ送受信部 3 0 3 で受信する。データ送受信部 3 0 3 で受信されたプロフィール情報は、受信したデータ送受信部 3 0 3 に対応する商品識別とともにデータ入出力部 1 0 3 を介して表示条件処理部 1 0 4 に入力される。

【 0 0 4 0 】

表示条件処理部 1 0 4 では、送信されてきた商品識別に対応する商品の基本情報および入力されるプロフィール情報に基づいて選択した付加情報をデータ入出力部 1 0 3 およびデータ送受信部 3 0 3 を介してユーザ端末 2 0 0 側に送信する。

【 0 0 4 1 】

ユーザ端末 2 0 0 では、送信されてきた商品情報のうち基本情報を商品情報表示部 2 0 2 の基本情報表示部 2 0 3 に表示し、付加情報を付加情報表示部 2 0 4 に表示する。

【 0 0 4 2 】

このことにより、ユーザは手元にあるユーザ端末の商品情報表示部 2 0 2 を確認することで、容易にその商品の基本情報や付加情報を確認することができ、商品の選択が容易になる。また、ユーザのプロフィール情報により異なる付加情報を表示する場合、そのユーザにのみ付加情報の提供を行うことができる。たとえ

ば、ユーザにより割引率が異なるように設定する場合には、このような割引率を他のユーザに知られることなく、そのユーザにだけ割引情報を知らせるように構成できる。

【 0 0 4 3 】

なお、基本情報表示部 2 0 3 は、ユーザ端末 2 0 0 から省略し、データ送受信部 3 0 3 とともに商品の近傍に設置するように構成することも可能である。

〔第 3 実施形態〕

本発明の第 3 実施形態について図 7 に示す構成図に基づいて説明する。

【 0 0 4 4 】

この第 3 実施形態では、商品情報管理サーバ 1 0 0 とユーザ端末 2 0 0 とがネットワークを介して接続される場合であって、いわゆるオンラインショッピングが実現される形態を例示している。

【 0 0 4 5 】

商品情報管理サーバ 1 0 0 は、商品情報データベース 1 0 1 よおよび付加情報データベース 1 0 2 を管理しており、付加情報データベース 1 0 2 からユーザのプロフィール情報に対応する付加情報を選択する表示条件処理部 1 0 4 と、各種情報をユーザ端末 2 0 0 側に提供するための WWW サーバ 1 1 1 とを備えている。

【 0 0 4 6 】

この WWW サーバ 1 1 1 は、HTTP プロトコルによるネットワークを介した情報の要求があった場合に、要求された情報を要求したユーザ端末 2 0 0 に提供するように構成される。また、WWW サーバ 1 1 1 はユーザ端末 2 0 0 からの要求に応じて商品情報データベース 1 0 1 中の商品の基本情報を構成するページデータ（たとえば HTML 形式で記述される文書）を送出するとともに、このページデータに付加情報を埋め込む機能を備えている。この付加情報を埋め込む処理は、CGI (Common Gateway Interface) などの仕組みを用いて実現することが可能である。

【 0 0 4 7 】

表示条件処理部 1 0 4 は、ユーザ端末 2 0 0 から受信するプロフィール情報と、付加情報データベース 1 0 2 とを照合して、その結果最適な付加情報を選択す

るものである。ここでは、第1実施形態の場合と同様に、商品のおすすめ対象となる性別、年齢、職業などを各商品毎に付加情報データベース102に登録しておき、プロフィール情報との照合により付加情報を決定するように構成することができる。

【0048】

ユーザ端末200は、インターネット接続が可能なパーソナルコンピュータで構成することが可能であり、ユーザのプロフィール情報を格納するプロフィールデータベース201と、WWWサーバ111から提供される情報を閲覧するためのWWWブラウザ211とを備えている。

【0049】

ユーザがユーザ端末200からWWWブラウザ211を利用して商品情報管理サーバ100に接続する場合、ユーザはWWWブラウザ211に商品情報管理サーバ100のアドレス(URL)を入力してWWWサーバ111へのアクセスを行う。このとき、アドレスに続けてプロフィールデータベース201に格納されているユーザのプロフィール情報を商品情報管理サーバ100側に通知する。

【0050】

商品情報管理サーバ100側では、ユーザが要求した商品情報が格納されている商品情報データベース101から情報を取得するとともに、ユーザのプロフィール情報を表示条件処理部104にわたす。

【0051】

表示条件処理部104では、付加情報データベース102とユーザのプロフィール情報とを照合して、商品毎にプロフィール情報に沿った付加情報を抽出する。ここで、抽出された付加情報は、WWWサーバ111により商品のページデータに埋め込まれ、ユーザ端末200のWWWブラウザ211上に表示される際には、アイコンなどの視覚的に見分けやすいものとなるように構成される。

【0052】

ユーザ端末200のWWWブラウザ211上に表示される画面の構成例を図8に示す。

ここでは、商品情報を表示する商品情報画面500上に、各商品の写真情報が

写真表示部 5 0 1 a、5 0 1 b・・・に表示され、その右側の商品説明部 5 0 2 a、5 0 2 b・・・に各商品の説明が表示される。このような写真表示部 5 0 1 および商品説明部 5 0 2 に表示される情報は、商品情報データベース 1 0 1 から抽出された基本情報である。

【 0 0 5 3 】

商品情報画面 5 0 0 の右端部には、付加情報表示部 5 0 3 a、・・・5 0 3 d が設けられている。この付加情報表示部 5 0 3 には、参照するユーザのプロフィール情報に応じて商品情報管理サーバ 1 0 0 から送信されてきた対応する商品の付加情報が表示されるものであり、前述したように、視覚的に見分けやすいようなアイコンなどで表示することができる。図 8 に示すものでは、付加情報表示部 5 0 3 a、5 0 3 d には「おすすめ」の表示を行い、付加情報表示部 5 0 3 c には「在庫わずか」の表示を行っている。

【 0 0 5 4 】

付加情報表示部 5 0 3 の表示は、ユーザのプロフィール情報により異なる表示を行うものであり、プロフィール情報の変更があった場合にはこれに伴って更新されることとなる。したがって、ユーザ端末 2 0 0 側からプロフィール情報の変更が入力された場合には、商品情報管理サーバ 1 0 0 からそれに応じた付加情報が送信され、WWWブラウザ 2 1 1 上で表示されている付加情報の表示が更新される。

【 0 0 5 5 】

また、付加情報データベース 1 0 2 に変更があった場合には、これに応じて WWWブラウザ 2 1 1 上に表示される付加情報が変更されることとなる。オンラインショッピングの店舗経営者は、実際に商品を購入したユーザのプロフィール情報を参考にして、付加情報データベース 1 0 2 を修正することにより、商品情報データベース 1 0 1 を更新することなく、おすすめ情報などのユーザが商品を選択する上で手がかりとなる有用な情報を更新することが可能となる。

【 0 0 5 6 】

〔第 4 実施形態〕

本発明の第 4 実施形態の構成を図 9 に示す。

この第4実施形態では、第3実施形態と同様に、商品情報管理サーバ100とユーザ端末200とがネットワークを介して接続されており、さらに付加情報データベース401およびプロフィールデータベース402を管理する付加情報管理サーバ400がネットワークを介して接続されている。

【0057】

商品情報管理サーバ100は、商品情報データベース101、WWWサーバ111および表示情報取得部112を備えている。商品情報データベース101は、前述の実施形態と同様に、各商品の基本情報を格納するものである。WWWサーバ111は、ユーザ端末200からの要求に応じて各種情報をユーザ端末側に提供するものであって、第3実施形態と同様に、商品情報データベース101に格納されている商品の基本情報を提供するとともに、ユーザのプロフィール情報に対応する付加情報を商品の基本情報を示すページデータに埋め込んでユーザ側に提供するように構成されている。表示情報取得部112は、ユーザ端末200側から送信されてくるユーザの識別情報を取得し、このユーザの識別情報を付加情報管理サーバ400に送出して、付加情報管理サーバ400から送信されてくる付加情報に基づいて表示情報を取得する。

【0058】

ユーザ端末200は、WWWブラウザ211を備えており、WWWサーバ111から提供される各種情報を閲覧可能となっている。

付加情報管理サーバ400は、付加情報データベース401とプロフィールデータベース402とを管理しており、ユーザのプロフィール情報に基づいて付加情報を選択する表示条件処理部403を含んでいる。表示条件処理部403は、商品情報管理サーバ100から送信されてくるユーザの識別情報に基づいて、プロフィールデータベース402内のプロフィール情報を検索し、該当するユーザのプロフィール情報を取得する。表示条件処理部403では、さらに、このプロフィール情報に基づいて付加情報データベース401から対応する付加情報を選択し、商品情報管理サーバ100の表示情報取得部112に送出する。

【0059】

この第4実施形態では、商品情報管理サーバ100において付加情報の決定を

行っておらず、付加情報データベース401およびプロフィールデータベース402を管理する付加情報管理サーバ400において付加情報を決定している。したがって、商品情報管理サーバ100では、ユーザ端末200からの商品情報の要求があった場合には、表示情報取得部112により付加情報管理サーバ400の表示条件処理部403に問い合わせを行う。

【0060】

この実施形態では、ユーザが予め自分のプロフィール情報を付加情報管理サーバ400に登録していることが前提となる。ただし、未登録のユーザからのアクセスがあった場合に、商品情報管理サーバ100のWWWサーバ111がCGIなどに機能により、付加情報管理サーバ400への登録を行わせるように構成することも可能である。

【0061】

ユーザがユーザ端末200から商品情報管理サーバ100へのアクセスを行う場合には、WWWブラウザ211にWWWサーバ111のアドレス（URL）を入力する。このとき、ユーザ端末200からは、ユーザ名やユーザIDなどのユーザ識別情報が商品情報管理サーバ100側に送出される。

【0062】

商品情報管理サーバ100では、ユーザ端末200から要求のあった商品の基本情報を、商品情報データベース101から取得するとともに、表示情報取得部112を介してユーザの識別情報と参照しようとしている商品の識別情報とを付加情報管理サーバ400側に送信する。

【0063】

付加情報管理サーバ400の表示条件処理部403は、商品情報管理サーバ100から受け取ったユーザの識別情報に基づいてプロフィールデータベース402から対応するユーザのプロフィール情報を取得し、商品の識別情報に基づいて付加情報データベース401から対応する付加情報を取得して、これらを照合して表示させる付加情報を決定する。表示条件処理部403は、この決定した付加情報を商品情報管理サーバ100の表示情報取得部112に送出する。

【0064】

商品情報管理サーバ100は、表示情報取得部112が受信した付加情報に基づいて、WWWサーバ111が商品情報中にこの付加情報を埋め込んで要求のあったユーザ端末200に提供する。

【0065】

このように構成した場合には、ユーザのプロフィール情報が、商品情報管理サーバ100やユーザ端末200とは異なる別のコンピュータで管理されるため、個人的な情報が直接店舗側に伝わらないため、ユーザが安心してこのシステムを利用することができる。ユーザのプロフィール情報として、商品を送付する住所や決済に必要なクレジット番号などを管理し、このサーバを運営する別の組織が商品の配送を行うように構成すれば、ユーザを特定するような情報が店舗側に漏れることがなく、店舗側からのダイレクトメールやセールスなどを受けることを防止することができる。

【0066】

また、店舗側では、商品情報管理サーバ100内の商品情報データベース101を管理するだけとなり、付加情報データベースの更新、付加情報の条件設定および付加情報を表示するための画面設定などを、付加情報管理サーバ400の管理者に任せることで、煩雑な作業を行う必要がなくなる。

【0067】

〔第5実施形態〕

本発明の第5実施形態の構成を図10に示す。

この第5実施形態では、付加情報データベース102と表示条件処理部104を、第3実施形態と同様に商品情報管理サーバ100側に設けており、付加情報管理サーバ400の代わりにプロフィールデータベース402を管理する顧客管理サーバ410を備える構成としている。

【0068】

商品情報管理サーバ100には、さらにプロフィール情報取得部113が設けられている。このプロフィール情報取得部113は、ユーザ端末200側から送信されてくるユーザの識別情報を顧客管理サーバ400に送出し、このユーザの識別情報に対応するプロフィール情報を顧客管理サーバ400から受信して表示

条件処理部 1 0 4 にわたすように構成されている。

【 0 0 6 9 】

この第 5 実施形態の場合、第 4 実施形態と同様に、ユーザは WWW ブラウザ 2 1 1 を介してユーザ名やユーザ ID などの識別情報を送信するだけで、商品情報管理サーバ 1 0 0 が管理する各商品の基本情報とユーザのプロフィール情報に沿った付加情報を得ることができ、商品の選択を容易に行うことが可能となる。プロフィール情報は、商品情報管理サーバ 1 0 0 とは異なる別のコンピュータで管理されており、オンラインショッピングの店舗管理者にユーザの個人情報が漏れる心配がなく、安心してこのシステムを利用することができる。

【 0 0 7 0 】

〔第 6 実施形態〕

本発明の第 6 実施形態の構成を図 1 1 に示す。

この第 6 実施形態では、商品情報管理サーバ 1 0 0 が商品情報データベース 1 0 1 とプロフィールデータベース 1 1 4 を管理しており、ネットワークを介して商品情報管理サーバ 1 0 0 に接続される付加情報管理サーバ 4 0 0 が付加情報データベース 4 0 1 を管理している。

【 0 0 7 1 】

商品情報管理サーバ 1 0 0 には、表示情報取得部 1 1 2 が設けられている。この表示情報取得部 1 1 2 は、ユーザ端末 2 0 0 から送信されてくるユーザの識別情報に基づいてプロフィールデータベース 1 1 4 を検索し、対応するプロフィール情報を付加情報管理サーバ 4 0 0 に送信し、付加情報管理サーバ 4 0 0 から送信されてくる付加情報により表示情報を取得するものである。

【 0 0 7 2 】

付加情報管理サーバ 4 0 0 には、表示条件処理部 4 0 3 が設けられており、商品情報管理サーバ 1 0 0 から送信されてくるプロフィール情報に基づいて、付加情報データ 4 0 1 内から対応する付加情報を選択し、商品情報管理サーバ 1 0 0 の表示情報取得部 1 1 2 に送出する。

【 0 0 7 3 】

このようにした第 6 実施形態の場合、第 4 実施形態、第 5 実施形態と同様に、

ユーザはWWWブラウザ211を介してユーザ名やユーザIDなどの識別情報を送信するだけで、商品情報管理サーバ100が管理する各商品の基本情報とユーザのプロフィール情報に沿った付加情報を得ることができ、商品の選択を容易に行うことが可能となる。

【0074】

商品情報管理サーバ100の管理者側では、付加情報データベース401のメンテナンスを行う必要がなく、煩雑な作業を省略することができる。

〔第7実施形態〕

プロフィールデータベースに格納されているユーザのプロフィール情報に基づいて付加情報データベースから付加情報の選択を行う際に、そのプロフィール情報内に選択を行うための条件項目が登録されていないような場合には、ユーザ端末に対して登録されていない項目の入力要求を行うように構成できる。第4実施形態のように付加情報データベース401およびプロフィールデータベース402を付加情報管理サーバ400で管理しているシステムに適用した場合の構成を図12に示す。

【0075】

この第7実施形態では、図9に示す構成に加えて、付加情報管理サーバ400内に不足情報問い合わせ部421を設けた構成となっている。

この第7実施形態において、付加情報管理サーバ400の表示条件処理部403は、商品情報管理サーバ100から受け取ったユーザの識別情報に基づいてプロフィールデータベース402から対応するプロフィール情報を検索する。また、表示条件処理部403は、商品情報管理サーバ100から受け取った商品の識別情報に基づいて付加情報データベース401から付加情報を検索する。この各データベースから抽出された付加情報とプロフィール情報を照合する際に、プロフィール情報内に登録されていない情報が存在する場合に、不足情報問い合わせ部421からこの旨の通知を行う。

【0076】

不足情報問い合わせ部421からの通知は、商品情報管理サーバ100に送信され、WWWサーバ111を介してユーザ端末200のWWWブラウザ211上

に表示されるように構成できる。たとえば、ユーザのプロフィール情報中の職業のデータにより、ユーザが参照しようとしている商品の付加情報が表示されるように設定されているときに、このユーザのプロフィール情報中に職業のデータが登録されていない場合、図 1 3 に示すような不足情報問い合わせ画面 5 1 0 を WWW ブラウザ 2 1 1 上に表示させることができる。不足情報問い合わせ画面 5 1 0 は、不足情報を示す不足情報通知部 5 1 1、ユーザにより不足情報を入力するための情報入力部 5 1 2、入力した情報を送信するための登録ボタン 5 1 3、入力した情報をキャンセルするためのキャンセルボタン 5 1 4 などを備えている。

【 0 0 7 7 】

ユーザ端末 2 0 0 に表示された不足情報問い合わせ画面 5 1 0 を介して、ユーザからの情報の入力があった場合には、付加情報管理サーバ 4 0 0 の表示条件処理部 4 0 3 に送信される。表示条件処理部 4 0 3 は、プロフィールデータベース 4 0 2 内の情報を更新するとともに、新たなプロフィール情報に基づいて付加情報データベース 4 0 1 内の付加情報を選択し、表示情報取得部 1 1 2 に付加情報を送出する。この付加情報は、商品情報管理サーバ 1 0 0 の WWW サーバ 1 1 1 を介してユーザ端末 2 0 0 の WWW ブラウザ 2 1 1 上で表示される。

【 0 0 7 8 】

プロフィール情報中に登録されていない項目が多数存在する場合、ユーザに対する問い合わせを一度に行うことも可能であるが、1 項目ずつ、もしくは数項目毎に時間をおいて問い合わせを行うことが好ましい。これは、多くの情報を一度に問われることを嫌うユーザが多く、多数の事項について問い合わせを行った時点で接続を絶たれるおそれがあることに基づく。したがって、ユーザのプロフィール情報を最初に登録する際に、数項目の情報の入力をさせ、その後徐々に不足情報の問い合わせを行うことで、プロフィール情報の充実を図ることが可能となる。また、付加情報データベース 4 0 1 に登録される表示条件により、店舗側からプロフィール情報としてユーザに登録して欲しい情報を制御することが可能である。

【 0 0 7 9 】

〔第 8 実施形態〕

本発明の第 8 実施形態の構成を図 1 4 に示す。

この第 8 実施形態では、図 9 で示す第 4 実施形態の構成に加えて、付加情報管理サーバ 4 0 0 内に顧客端末連携部 4 2 2 を設けている。この顧客端末連携部 4 2 2 は、ユーザ端末 2 0 0 との間で通信を行ってユーザ端末 2 0 0 の WWW ブラウザ 2 0 1 と連携動作するように構成される。

【 0 0 8 0 】

商品情報管理サーバ 1 0 0 には表示部品処理部 1 1 5 が設けられている。この表示部品処理部 1 1 5 は、ユーザ端末 2 0 0 から付加情報管理サーバ 4 0 0 の顧客端末連携部 4 2 2 との間で通信を行って直接付加情報を取得し WWW ブラウザ 2 0 1 上でこの付加情報を表示するための表示部品を作成するものである。この表示部品は、Java や ActiveX などのアプレットとして、WWW サーバ 1 1 1 が商品情報の中に埋め込んで、ユーザ端末 2 0 0 の WWW ブラウザ 2 0 1 に通知する。

【 0 0 8 1 】

ユーザは、自分のプロフィール情報を予め付加情報管理サーバ 4 0 0 内のプロフィールデータベース 4 0 2 に登録しておく。ユーザが、ユーザ端末 2 0 0 から WWW ブラウザ 2 0 1 を利用して、商品情報管理サーバ 1 0 0 に接続する場合、WWW サーバ 1 1 1 のアドレス (URL) を入力し、商品情報の要求を行う。このとき、同時に、ユーザ端末 2 0 0 はユーザ名やユーザ ID などのユーザ識別情報を商品情報管理サーバ 1 0 0 側に送出する。

【 0 0 8 2 】

WWW サーバ 1 1 1 では、要求された商品情報を格納する商品情報データベース 1 0 1 内から商品の基本情報を取得するとともに、表示部品処理部 1 1 5 によりユーザ識別情報と商品識別情報とが付与された付加情報表示部品の作成を行わせる。WWW サーバ 1 1 1 では、商品情報データベース 1 0 1 から取得した商品情報に、表示部品処理部 1 1 5 で作成された Java アプレットなどで構成される付加情報表示部品を埋め込んでユーザ端末 2 0 0 側に送信する。

【 0 0 8 3 】

ユーザ端末 2 0 0 の WWW ブラウザ 2 0 1 上には、送信されてきた商品情報を

表示する。これと同時に、付加情報表示部品が付加情報管理サーバ400の顧客端末連携部422との間で通信を行い、表示部品に付与されているユーザ識別情報と商品識別情報に基づいて表示条件処理部403が選択した付加情報を付加情報管理サーバ400から受信してWWWブラウザ201上の表示を変化させる。

【0084】

たとえば、図15に示すように、WWWブラウザ201上に表示される商品情報画面520を構成した場合、各商品の写真情報が写真表示部501a、501b・・・に表示され、その右側の商品説明部502a、502b・・・に各商品の説明が表示される。このような写真表示部501および商品説明部502に表示される情報は、商品情報データベース101から抽出された基本情報であり、WWWサーバ111から送信されてくる情報である。

【0085】

商品情報画面520の右端部には、付加情報表示部品が埋め込まれた表示部品埋込部521a～521dが設けられている。この表示部品埋込部521a～521dは、付加情報管理部400の顧客端末連携部422と通信しながらリアルタイムに動作するプログラムが埋め込まれており、ユーザがプロフィール情報の一部を変更したり、店舗側で商品の付加情報に対する条件を変更した場合、直ちに結果が反映されて付加情報の表示が更新されるように構成されている。

【0086】

このような構成とした場合には、ユーザが自分のプロフィール情報を多少変化させて実際のプロフィール情報とは異なる条件での付加情報を簡単に入手することができ、商品選択時における情報の幅が広くできる。また、人気商品などの在庫数をリアルタイムに表示させることが可能となり、ユーザが購買時期の目安とすることができる。

【0087】

また、商品情報としてその商品に対するコメントを登録しておき、表示部品埋込部521上にマウスカーソルが位置した際に、追加情報を表示するように構成することもできる。たとえば、図16に示すように、表示部品埋込部521a上にマウスカーソルが位置したとき、新たに追加情報ウィンドウ523aを立ち上

げて、登録されたコメントなどの追加情報を表示するように構成する。このように、付加情報がある条件となるまで表示せずにおくことで、商品紹介のレイアウトがすっきりした印象となり、WWWブラウザ201上において商品情報を見やすくすることができる。

【0088】

〔第9実施形態〕

本発明の第9実施形態の構成を図17に示す。

この第9実施形態では、図14で示す第8実施形態の構成のうち、付加情報管理サーバ400の顧客端末連携部422に代えてコメント入力連携部431を設けている。このコメント入力連携部422は、ユーザ端末200との間で通信を行ってユーザ端末200のWWWブラウザ201上にコメント情報を表示するとともに、WWWブラウザ201からの新たなコメント入力を受け付けるように構成される。受け付けたコメント入力は、コメント入力連携部431を介して商品コメントデータベース432に蓄積されるように構成されている。

【0089】

商品情報管理サーバ100には、第8実施形態と同様の表示部品処理部115が設けられている。この表示部品処理部115は、ユーザ端末200から付加情報管理サーバ400のコメント入力連携部431との間で通信を行って、WWWブラウザ201上にコメント情報を表示するとともにWWWブラウザ201上で新たなコメント情報の受付を行うための表示部品を作成するものである。この表示部品は、JavaやActiveXなどのアプレットとして、WWWサーバ111が商品情報の中に埋め込んで、ユーザ端末200のWWWブラウザ201に送信する。

【0090】

ユーザ端末200のWWWブラウザ201上での商品情報画面の一例を図18に示す。商品情報画面530には、各商品の写真情報を表示する写真表示部501a、501b・・・と、その右側に各商品の説明を表示する商品説明部502a、502b・・・とが設けられている。このような写真表示部501および商品説明部502に表示される情報は、商品情報データベース101から抽出された基本情報であり、WWWサーバ111から送信されてくる情報である。

【 0 0 9 1 】

商品情報画面 5 3 0 の右端部には、コメント入力連携用の表示部品が埋め込まれた表示部品埋込部 5 3 1 a ～ 5 3 1 d が設けられている。この表示部品埋込部 5 3 1 a ～ 5 3 1 d は、付加情報管理部 4 0 0 のコメント入力連携部 4 3 1 と通信しながらリアルタイムに動作するプログラムが埋め込まれている。

【 0 0 9 2 】

ユーザが、ユーザ端末 2 0 0 から WWW ブラウザ 2 0 1 を利用して、商品情報管理サーバ 1 0 0 に接続する場合、WWW サーバ 1 1 1 のアドレス (URL) を入力し、商品情報の要求を行う。このとき、同時に、ユーザ端末 2 0 0 はユーザ名やユーザ ID などのユーザ識別情報を商品情報管理サーバ 1 0 0 側に送出する。

【 0 0 9 3 】

WWW サーバ 1 1 1 では、要求された商品情報を格納する商品情報データベース 1 0 1 内から商品の基本情報を取得するとともに、表示部品処理部 1 1 5 で用意しているコメント入力連携用の表示部品を取得する。WWW サーバ 1 1 1 では、商品情報データベース 1 0 1 から取得した商品情報に、表示部品処理部 1 1 5 で用意されている Java アプレットなどで構成される表示部品を埋め込んでユーザ端末 2 0 0 側に送信する。

【 0 0 9 4 】

ユーザ端末 2 0 0 の WWW ブラウザ 2 0 1 上には、送信されてきた商品情報を表示する。これと同時に、表示部品埋込部 5 3 1 a ～ 5 3 1 d に、付加情報管理サーバ 4 0 0 のコメント入力連携部 4 3 1 との間で通信を行うコメント入力用のアプレットのアイコンを表示する。たとえば、表示部品埋込部 5 3 1 a をクリックすることにより、新たにコメント表示用ウィンドウ 5 3 2 a を立ち上げ、5 3 3 a に商品コメントデータベース 4 3 2 に蓄積されているコメント情報を表示し、新規コメント入力部 5 3 4 a へのコメント入力を受け付ける。

【 0 0 9 5 】

このように構成することにより、この商品に興味を持ったユーザからのコメント情報や店員により入力されたコメント情報などを参照しながら商品の選択することが可能となり、またユーザからのコメントを受け付けることにより、ユーザ

に対するサービスを向上することができる。

【0096】

商品コメントデータベース432は、商品毎にデータベースを独立させるとコメント情報数が増えないような場合には、各商品のうち同じカテゴリでコメントデータベースを共有するようにすることが好ましい。また、商品コメントデータベース432中のコメント情報のうち一定時間経過した情報を削除したり、店員が許可したコメントのみを公開するなどの機能を設けることが考えられる。

【0097】

〔第10実施形態〕

本発明の第10実施形態の構成を図19に示す。

この第10実施形態では、図14で示す第8実施形態の構成のうち、付加情報管理サーバ400の顧客端末連携部422に代えてチャット連携部441を設けている。このチャット連携部441は、チャット用アプレットが起動しているユーザ端末200との間で通信を行ってリアルタイムでのメッセージの送受信を行うように構成される。チャット連携部441とユーザ端末200との間で送受信されるメッセージは、チャットチャネル管理部442により各メッセージに送信者、受信者、送受信時刻などの情報が付与されたログ情報として蓄積される。

【0098】

商品情報管理サーバ100には、第8実施形態と同様の表示部品処理部115が設けられている。この表示部品処理部115は、ユーザ端末200から付加情報管理サーバ400のチャット連携部441との間で通信を行って、メッセージの送受信を行うための表示部品を作成するものである。この表示部品は、JavaやActiveXなどのアプレットとして、WWWサーバ111が商品情報の中に埋め込んで、ユーザ端末200のWWWブラウザ201に送信する。

【0099】

また、商品情報管理サーバ100にもチャット端末部121が設けられており、付加情報管理サーバ400のチャット連携部441との間でメッセージの送受信を行うことが可能となっている。

【0100】

ユーザ端末 2 0 0 の WWW ブラウザ 2 0 1 上では、商品情報画面を表示する際に、同時にチャット連携のための表示部品がアイコンなどにより表示される。この商品情報画面上の表示部品をクリックすることにより、チャット連携部 4 4 1 との間でメッセージの送受信を行うためのアプレットが起動し、画面上にチャット用ウィンドウを表示する。図 2 0 に、チャット用ウィンドウの一例を示す。

【 0 1 0 1 】

チャット用ウィンドウ 5 4 0 は、チャネル選択部 5 4 1、チャネル参加者表示部 5 4 2、チャットログ表示部 5 4 3、メッセージ入力部 5 4 4 などを備えている。商品のカテゴリ毎にチャットチャネルを設定しておき、チャネル選択部 5 4 1 のポップアップメニューから任意のチャットチャネルを選択して移行することが可能な構成とすることができる。チャネル参加者表示部 5 4 2 には、そのチャネルに参加しているユーザや店員などのニックネームや名前などが表示される。チャネル参加者表示部 5 4 2 に表示されているユーザや店員とはリアルタイムによるメッセージの送受信が可能となる。

【 0 1 0 2 】

ユーザ端末 2 0 0 側では、チャット用ウィンドウ 5 4 0 のメッセージ入力部 5 4 4 に任意のメッセージを入力することで、チャネル参加者にメッセージを送信することができる。ユーザ端末 2 0 0 から送信されてくるメッセージは、チャットチャネル管理部 4 4 2 に蓄積されるとともに、チャット連携部 4 4 1 によりチャネル参加者である他のユーザ端末上の WWW ブラウザ、商品情報管理サーバ 1 0 0 のチャット端末部 1 2 1 に送信される。送信されてくる各メッセージは、送信時刻、送信者などの情報が付与されて、チャットログ表示部 5 4 3 に表示される。リアルタイムでのチャットログが散漫である場合には、チャットチャネル管理部 4 4 2 で管理しているチャットログを遡って参照できるように構成することも可能である。各チャネルは、各商品単位、カテゴリ単位で構成することが可能であり、ユーザの共通点に基づくチャネルを作ることも可能である。

【 0 1 0 3 】

このように構成した場合、チャット連携部 4 4 1 を介して、ユーザと店員の間あるいはユーザ同士の間でチャットを行うことが可能となり、商品に関する情報

交換を行うことが可能となる。また、商品情報管理サーバ100のチャット端末部121では、その店舗が係わっている全てのチャネルと同時に接続することにより、ユーザからの質問などに対応することが可能となる。

【0104】

〔第11実施形態〕

本発明の第11実施形態の構成を図21に示す。

この第11実施形態では、図14で示す第8実施形態の構成のうち、付加情報管理サーバ400の顧客端末連携部422に代えて注文受付連携部451を設けている。この注文受付連携部451は、ユーザ端末200のWWWブラウザ201と連携してユーザからの発注情報を受け付けるものである、注文受付連携部451で受け付けた発注情報は、発注手続部452に転送される。発注手続部452は、注文受付連携部451で受信した発注情報に基づいて、プロフィールデータベース402からユーザの住所やクレジットカード番号などの支払いに必要な情報を取得し、発注伝票の発行を行う。

【0105】

商品情報管理サーバ100には、第8実施形態と同様の表示部品処理部115が設けられている。この表示部品処理部115は、ユーザ端末200から付加情報管理サーバ400の注文受付連携部451との間で通信を行って、発注情報の受付を行うための表示部品を作成するものである。この表示部品は、JavaやActiveXなどのアプレットとして、WWWサーバ111が商品情報の中に埋め込んで、ユーザ端末200のWWWブラウザ201に送信する。

【0106】

ユーザ端末200のWWWブラウザ201上では、商品情報画面を表示する際に、同時に注文受付連携のための表示部品がアイコンなどにより表示される。この商品情報画面上の表示部品をクリックすることにより、注文受付連携部451と連携するためのアプレットが起動し、画面上に注文情報入力用のウィンドウを表示する。ユーザ端末200側では、この注文情報入力用ウィンドウに所定事項の入力を行うことで、発注情報を送信することができる。

【0107】

このように構成した場合、店舗側にユーザの個人情報が伝わらないため、ユーザが安心して商品購入を行うことができる。また、プロフィール情報や発注した商品との関係に関する情報を店舗側で認識することができるため、詳細なマーケット情報を得ることが可能であり、商品開発の参考にすることが可能となる。

【 0 1 0 8 】

〔他の実施形態〕

(A) 第 7 実施形態の不足情報問い合わせ部 4 2 1、第 8 実施形態の顧客端末連携部 4 2 2、第 9 実施形態のコメント入力連携部 4 3 1、第 1 0 実施形態のチャット連携部 4 4 1、第 1 1 実施形態の注文受付連携部 4 5 1 などの機能を、付加情報管理サーバ 4 0 0 内に重複して設けることが可能である。この場合、商品情報管理サーバ 1 0 0 からユーザ端末 2 0 0 の WWW ブラウザ 2 0 1 に送出される商品情報画面には、それぞれの連携を可能とする Java や ActiveX などのアプレットが埋め込まれ、アイコンなどで表示される構成とする。

(B) 第 7 実施形態の不足情報問い合わせ部 4 2 1、第 8 実施形態の顧客端末連携部 4 2 2、第 9 実施形態のコメント入力連携部 4 3 1、第 1 0 実施形態のチャット連携部 4 4 1、第 1 1 実施形態の注文受付連携部 4 5 1 などの機能を、第 3 実施形態に商品情報管理サーバ 1 0 0 内に設けること可能である。

(付記 1)

各商品の基本情報を参照しようとしているユーザのプロフィール情報を取得し

前記各商品の基本情報を格納する商品情報データベースから前記ユーザが参照しようとしている商品群の基本情報を選択して前記ユーザに提供するとともに、

前記各商品の付加情報を格納する付加情報データベースから、前記商品群中の商品について前記ユーザのプロフィール情報に対応する付加情報を選択して前記ユーザに提供する商品情報通知方法。(1)

(付記 2)

各商品の基本情報を参照しようとしているユーザのプロフィール情報を取得するプロフィール情報取得手段と、

前記各商品の基本情報を格納する商品情報データベースと、

前記商品情報データベース中から前記ユーザが参照しようとしている商品群の基本情報を提供する商品情報提供手段と、

前記各商品の付加情報を格納する付加情報データベースと、

前記プロフィール情報取得手段で取得したプロフィール情報に基づいて前記付加情報データベース中の対応する付加情報を選択する表示条件処理手段と、

前記表示条件処理手段で選択した付加情報を前記ユーザに提供する付加情報提供手段と、

を備える商品情報通知システム。(2)

(付記3)

前記プロフィール情報取得手段は、そのユーザのプロフィール情報を格納するユーザ端末との間で無線通信を行い、前記ユーザのプロフィール情報を取得する、付記2に記載の商品情報通知システム。

(付記4)

前記プロフィール情報取得手段は、そのユーザの識別情報を格納するユーザ端末との間で無線通信を行って前記ユーザの識別情報を取得し、ユーザのプロフィール情報を格納するプロフィールデータベースから前記ユーザの識別情報に対応するプロフィール情報を取得する、付記2に記載の商品情報通知システム。

(付記5)

前記商品情報提供手段および付加情報提供手段は、それぞれ前記各商品の近傍に設けられる商品情報表示手段および付加情報表示手段を含む、付記2～4のいずれかに記載の商品情報通知システム。

(付記6)

前記商品情報提供手段および付加情報提供手段は、それぞれ前記ユーザ端末に設けられる商品情報表示手段および付加情報表示手段に表示する情報を送信する商品情報送信手段を含む、付記3または4に記載の商品情報通知システム。

(付記7)

前記商品情報データベースを管理するとともに、WWWブラウザを有するユーザ端末に対して情報を提供するWWWサーバを備える商品情報管理サーバを有し

、前記WWWサーバが前記商品情報提供手段および付加情報提供手段を構成する、付記2に記載の商品情報通知システム。

(付記8)

前記プロフィール情報取得手段は、前記ユーザ端末からインターネットを介してそのユーザのプロフィール情報を取得する、付記7に記載の商品情報通知システム。

(付記9)

前記プロフィール情報取得手段は、前記ユーザ端末からインターネットを介してそのユーザの識別情報を取得し、ユーザのプロフィール情報を格納するプロフィールデータベースから前記ユーザの識別情報に対応するプロフィール情報を取得する、付記7に記載の商品情報通知システム。

(付記10)

前記商品情報管理サーバが前記プロフィールデータベースを管理する、付記9に記載の商品情報通知システム。

(付記11)

前記商品情報管理サーバと接続される顧客管理サーバが前記プロフィールデータベースを管理する、付記9に記載の商品情報通知システム。

(付記12)

前記商品情報管理サーバが前記付加情報データベースを管理するとともに前記表示条件処理手段を含む、付記7～11のいずれかに記載の商品情報通知システム。

(付記13)

前記商品管理サーバと接続される付加情報管理サーバが前記付加情報データベースを管理するとともに前記表示条件処理手段を含む、付記7～11のいずれかに記載の商品情報通知システム。(4)

(付記14)

前記商品情報提供手段および付加情報提供手段は、前記ユーザ端末のWWWブラウザ上で動作する端末連携部を含む、付記7～13のいずれかに記載の商品情報通知システム。(5)

(付記 1 5)

前記端末連携部は付加情報表示用のJavaアプレットである、付記 1 4 に記載の商品情報通知システム。

(付記 1 6)

前記端末連携部は、前記ユーザ端末からのコメントの入力を受け付けるコメント入力用のJavaアプレットである、付記 1 4 に記載の商品情報通知システム。

(付記 1 7)

前記端末連携部で受け付けた前記ユーザ端末からのコメントを管理するコメントデータベースをさらに備える、付記 1 6 に記載の商品情報通知システム。

(付記 1 8)

前記端末連携部は、前記ユーザ端末によるチャットを受け付けるチャット連携部である、付記 1 4 に記載の商品情報通知システム。

(付記 1 9)

前記チャット連携部で受け付けたチャット内容を管理するチャットチャンネル管理部をさらに備える、付記 1 8 に記載の商品情報通知システム。

(付記 2 0)

前記端末連携部は、前記ユーザ端末からの商品注文を受け付ける注文受付連携部である、付記 1 4 に記載の商品情報通知システム。

(付記 2 1)

前記注文受付部で受け付けた商品注文に基づいて発注手続きを行う発注手続部をさらに備える、付記 2 0 に記載の商品情報通知システム。

(付記 2 2)

各商品の基本情報を参照しようとしているユーザのプロフィール情報を取得し

前記各商品の基本情報を格納する商品情報データベースから前記ユーザが参照しようとしている商品群の基本情報を選択して前記ユーザに提供するとともに、

前記各商品の付加情報を格納する付加情報データベースから、前記商品群中の商品について前記ユーザのプロフィール情報に対応する付加情報を選択して前記ユーザに提供する商品情報通知方法のプログラムを記録したコンピュータ読取可

能な記録媒体。

【0109】

【発明の効果】

本発明では、ユーザプロフィール情報に基づいて、そのユーザ毎に適切な付加情報を提供するものであり、店舗側ではユーザそれぞれに対する効果的なプレゼンテーションを可能とする。また、ユーザ側では自己のプロフィール情報に沿った付加情報を参照することで、商品選択の手がかりを容易に得ることができる。

【0110】

特に、インターネットによるオンラインショッピングなどにおいて、WWWウェブサイトのページ作成には専門的な知識が必要であり、店舗側において各商品情報に付加情報を付与することが難しいが、商品の基本情報と付加情報とを別に管理することで、特別な知識がなくても付加情報の付与が容易となる。また、ユーザから商品情報に関するWWWページの要求があった時点で、ユーザのプロフィールを参照するため、表示させる付加情報を自由に選択することが可能となり、ユーザにより表示する付加情報を変更することも可能となる。このことにより、24時間営業可能なオンラインショッピングにおいても、店員を常駐させなくても対面販売に類似するような対応を自動的に行うことが可能となる。

【0111】

店舗側では、商品の紹介のように更新頻度が低い情報と、人気商品の在庫数や購入を行った客層などの日々の更新が必要な情報とを分けて管理することができ、データベースのメンテナンスが容易である。また、日々更新が必要な情報については、POS端末と連動させることも考えられ、情報取得に際する煩雑な作業を省略するとともに、ユーザに対して新しい正確な情報を提供することが可能となる。さらに、ユーザのプロフィール情報を他の組織が管理することにより、ユーザから個人情報を得やすくなり、住所やクレジットカード番号以外の情報を店舗に通知してもらうことにより、詳しいマーケット情報を入手することが可能となる。

【0112】

さらに、付加情報やプロフィール情報を管理する組織が別であれば、ユーザを

特定できる住所やクレジットカード番号などの秘密にしたい情報を店舗側に通知することなく商品の購入を行うことができるため、ユーザが安心して個人情報の登録を行うことができ、このシステムの利用をし易くなる。このようにプロフィール情報を登録するユーザの数が多くなれば、商品とプロフィール情報の関係からマーケティング情報を分析することができ、プロフィール情報や付加情報を管理する組織から店舗側に対する適切な支援を行うことが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の概略構成を示すブロック図。

【図 2】

第 1 実施形態の制御ブロック図。

【図 3】

商品情報表示手段の設置例を示す説明図。

【図 4】

付加情報データベースのテーブルを示す説明図。

【図 5】

プロフィール情報のテーブルを示す説明図。

【図 6】

第 2 実施形態の制御ブロック図。

【図 7】

第 3 実施形態の制御ブロック図。

【図 8】

第 3 実施形態における商品情報画面の説明図。

【図 9】

第 4 実施形態の制御ブロック図。

【図 1 0】

第 5 実施形態の制御ブロック図。

【図 1 1】

第 6 実施形態の制御ブロック図。

【図 1 2】

第 7 実施形態の制御ブロック図。

【図 1 3】

第 7 実施形態における商品情報画面の説明図。

【図 1 4】

第 8 実施形態の制御ブロック図。

【図 1 5】

第 8 実施形態における商品情報画面の説明図。

【図 1 6】

第 8 実施形態における商品情報画面の説明図。

【図 1 7】

第 9 実施形態の制御ブロック図。

【図 1 8】

第 9 実施形態における商品情報画面の説明図。

【図 1 9】

第 1 0 実施形態の制御ブロック図。

【図 2 0】

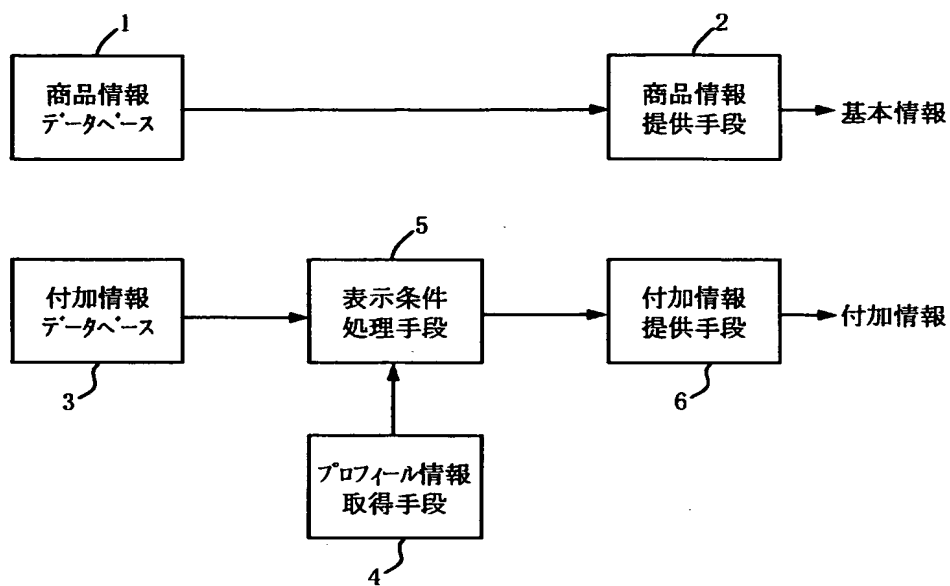
第 1 0 実施形態におけるチャット用ウィンドウの説明図。

【図 2 1】

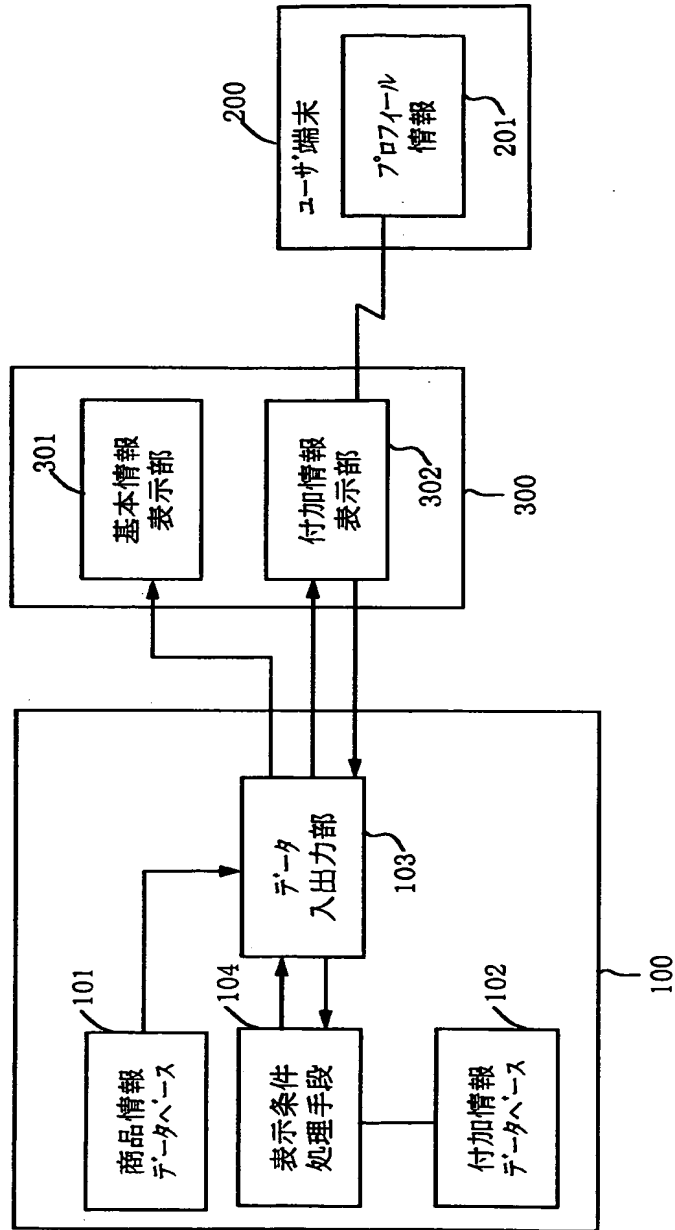
第 1 1 実施形態の制御ブロック図。

【書類名】 図面

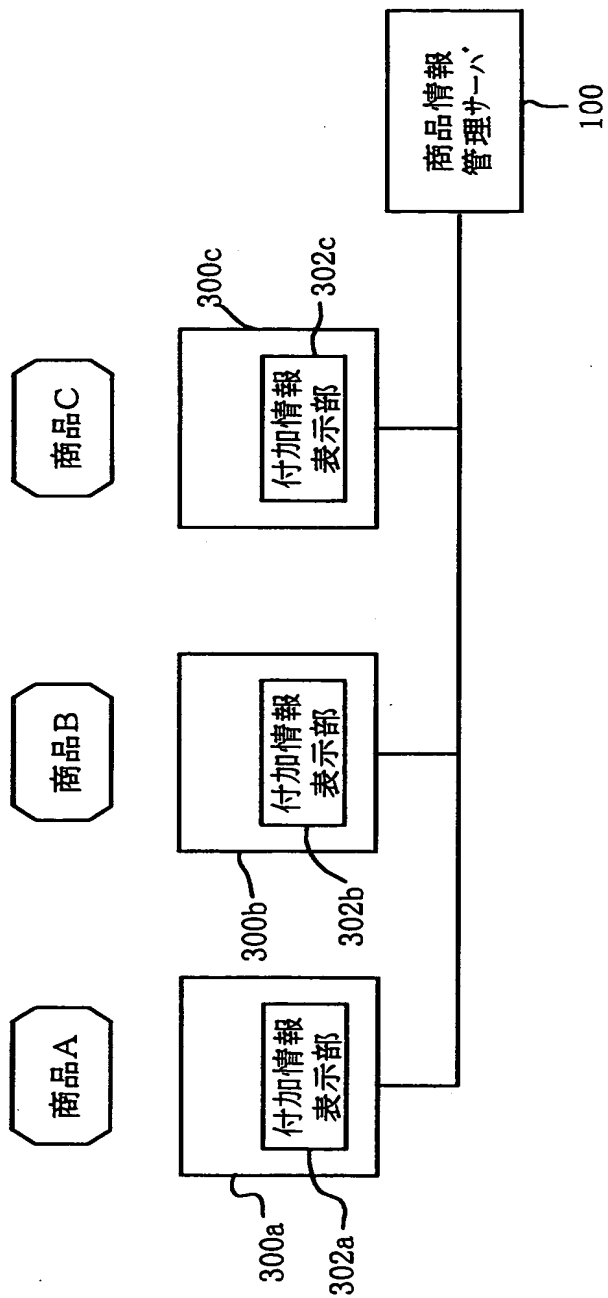
【図 1】



【図2】



【図 3】



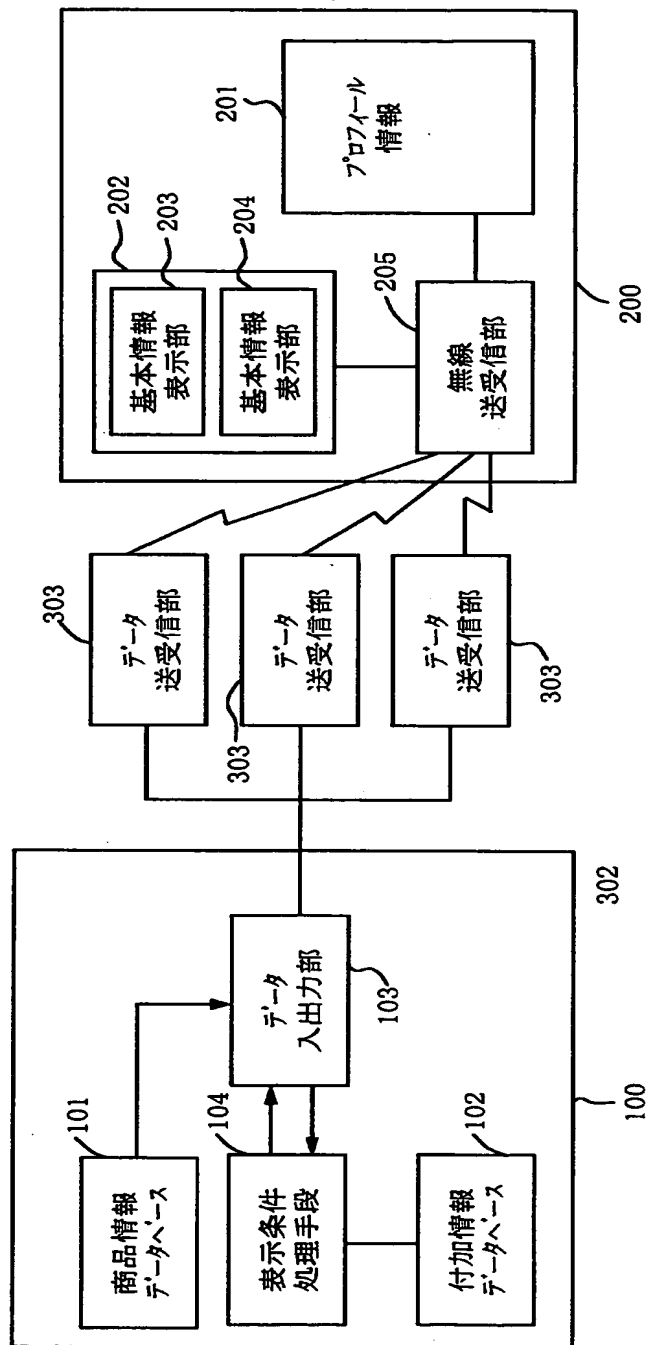
【図 4】

商品名	おすすめ条件 1		おすすめ条件 2		おすすめ条件 3	
商品 A	年齢	10-19	職業	学生	性別	女性
商品 B	性別	女性	職業	事務		
商品 C	年齢	20-29	職業	営業	性別	女性

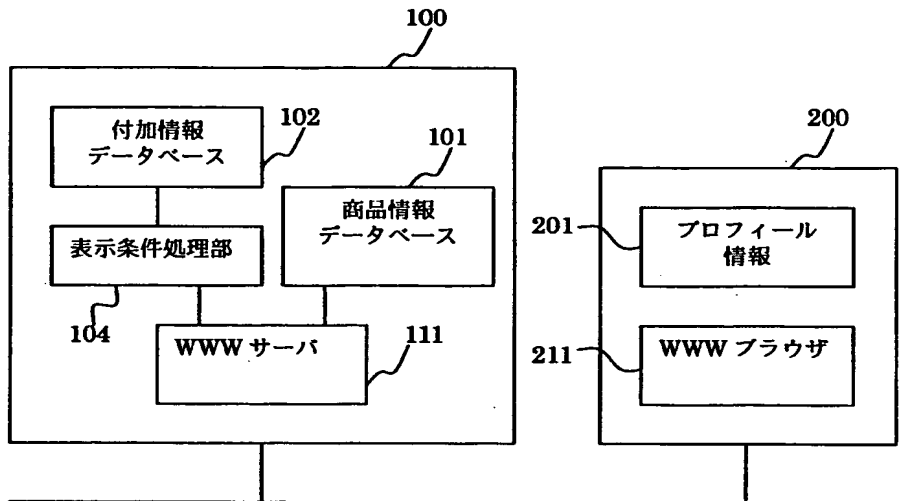
【図 5】

項目	内容
年齢	28
性別	女性
職業	事務

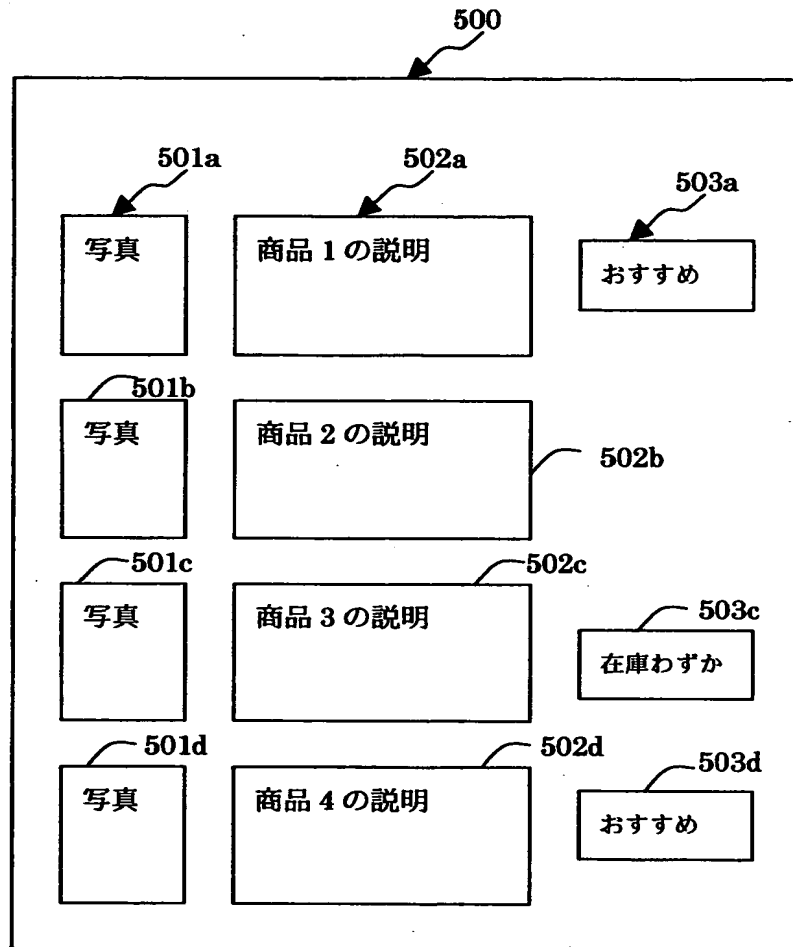
【図 6】



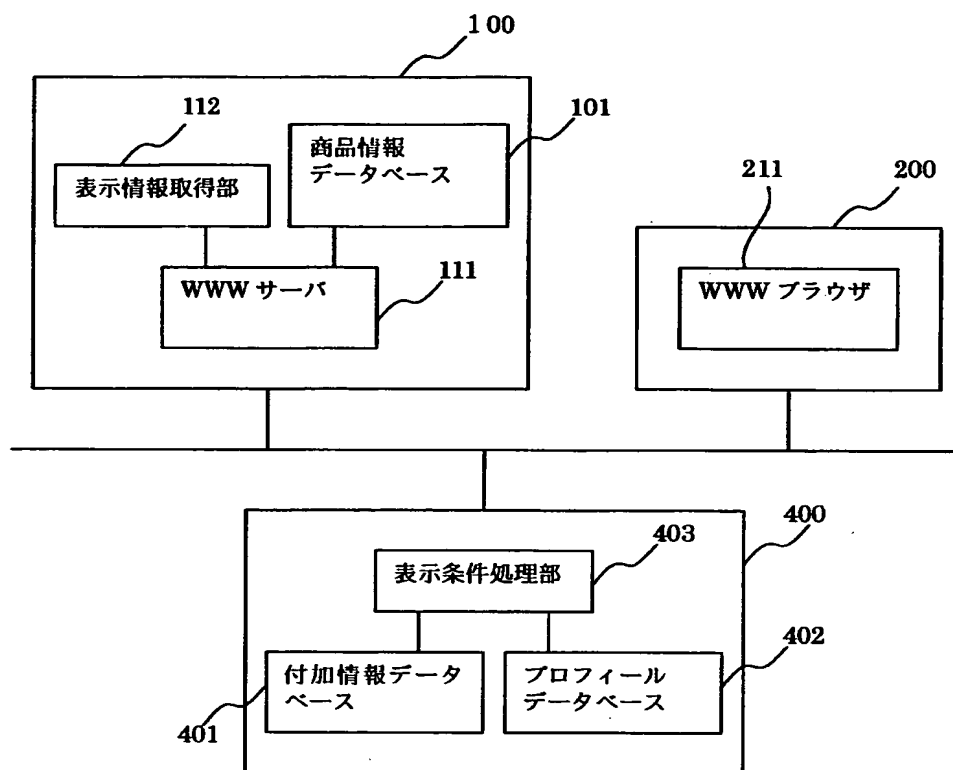
【図 7】



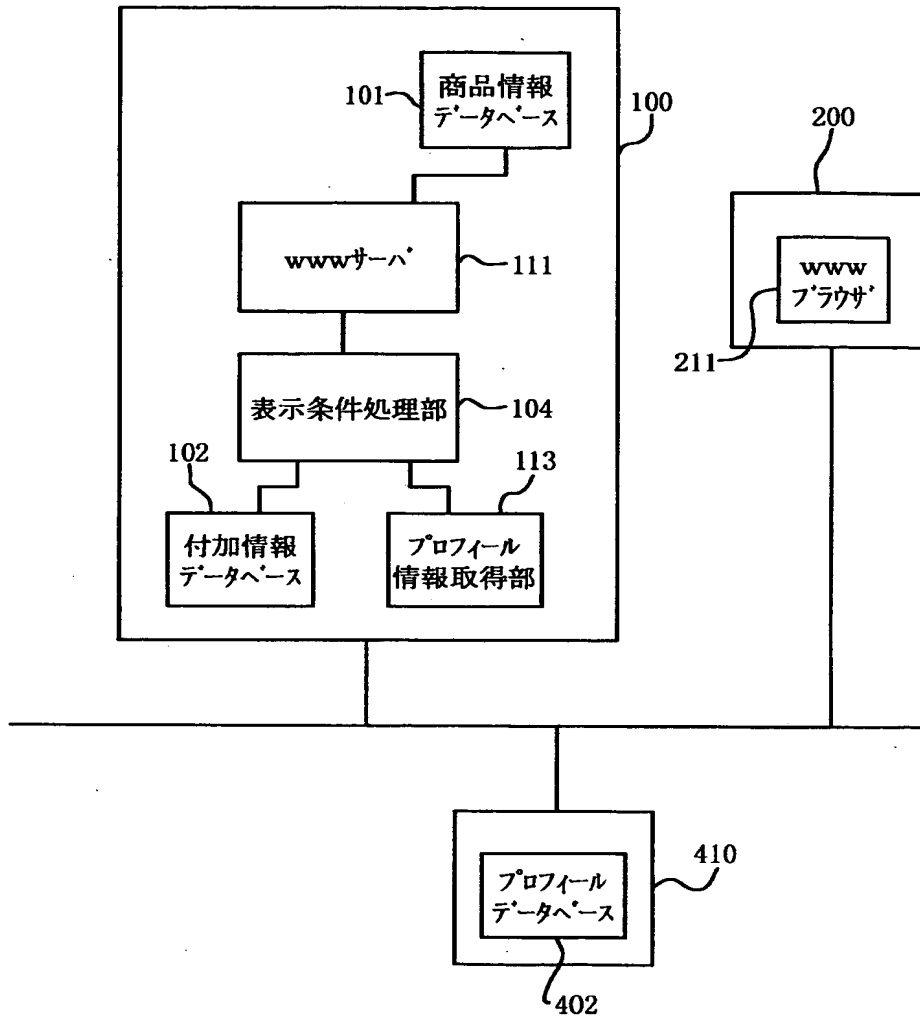
【図 8】



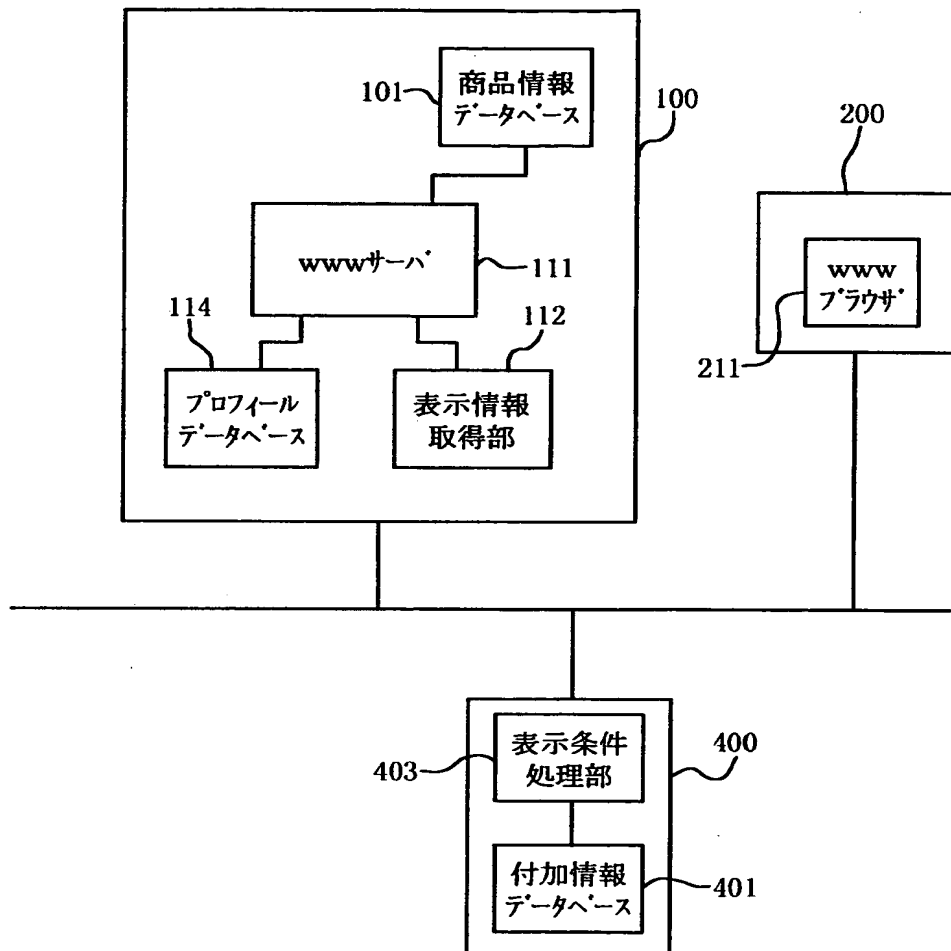
【図 9】



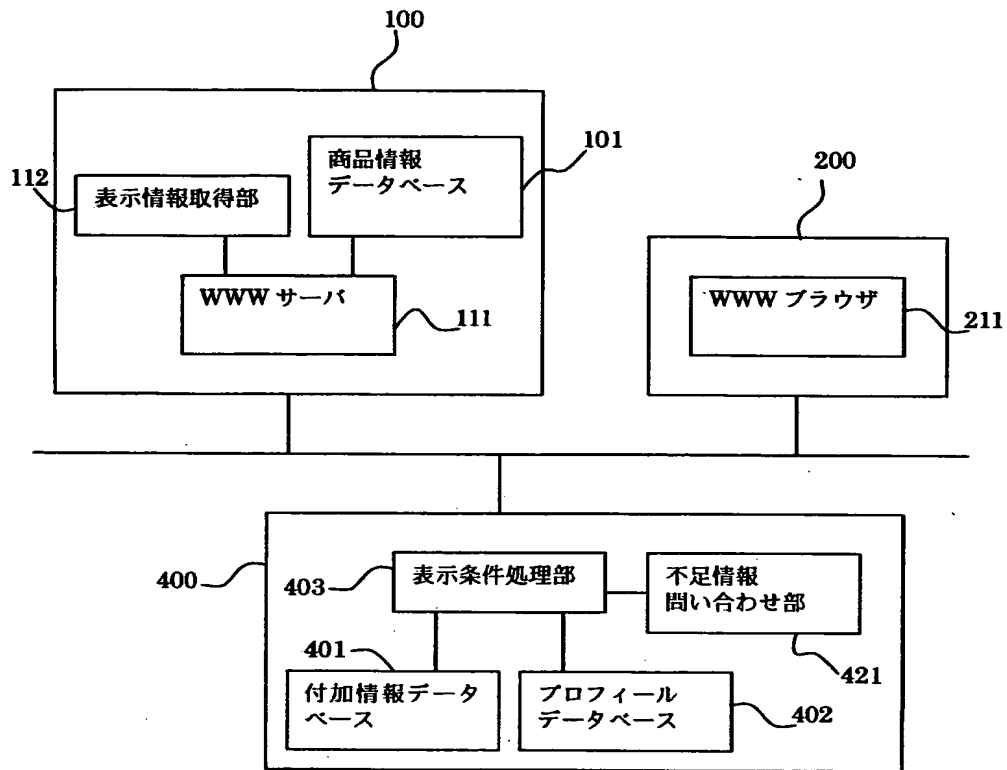
【図 1 0】



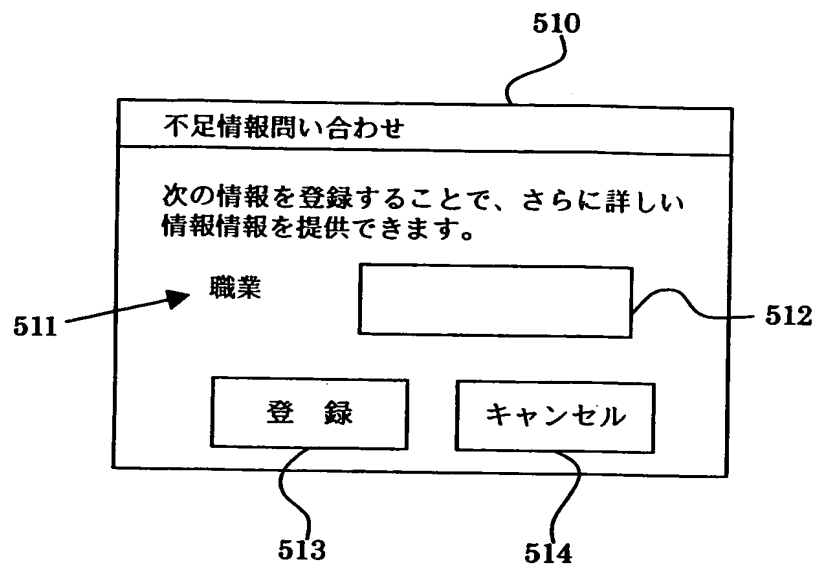
【図 1 1】



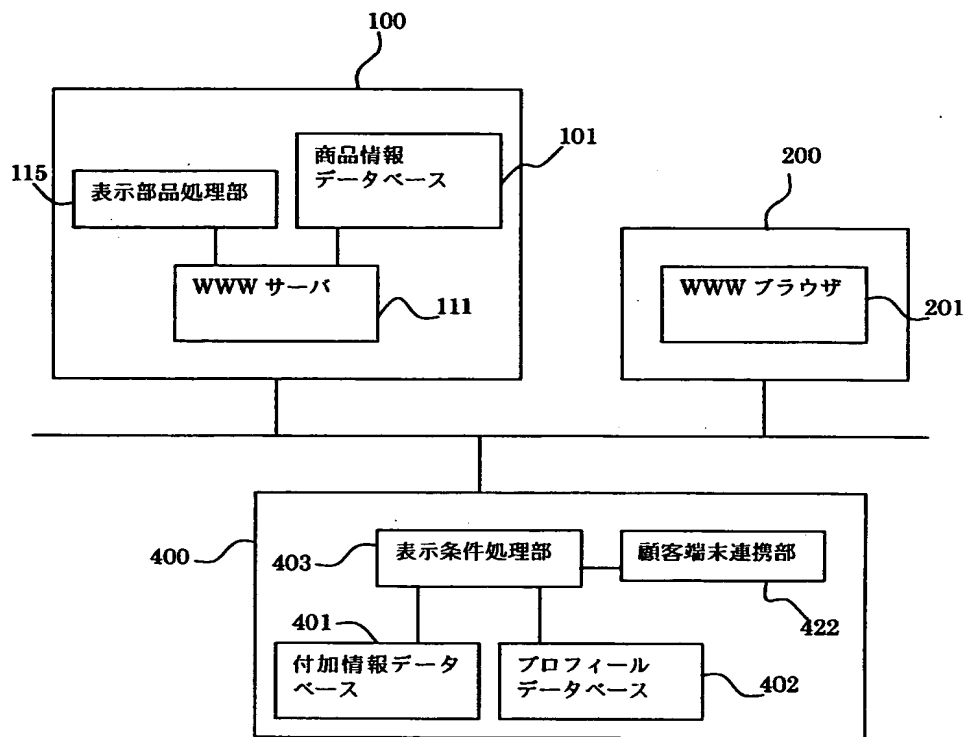
【図 12】



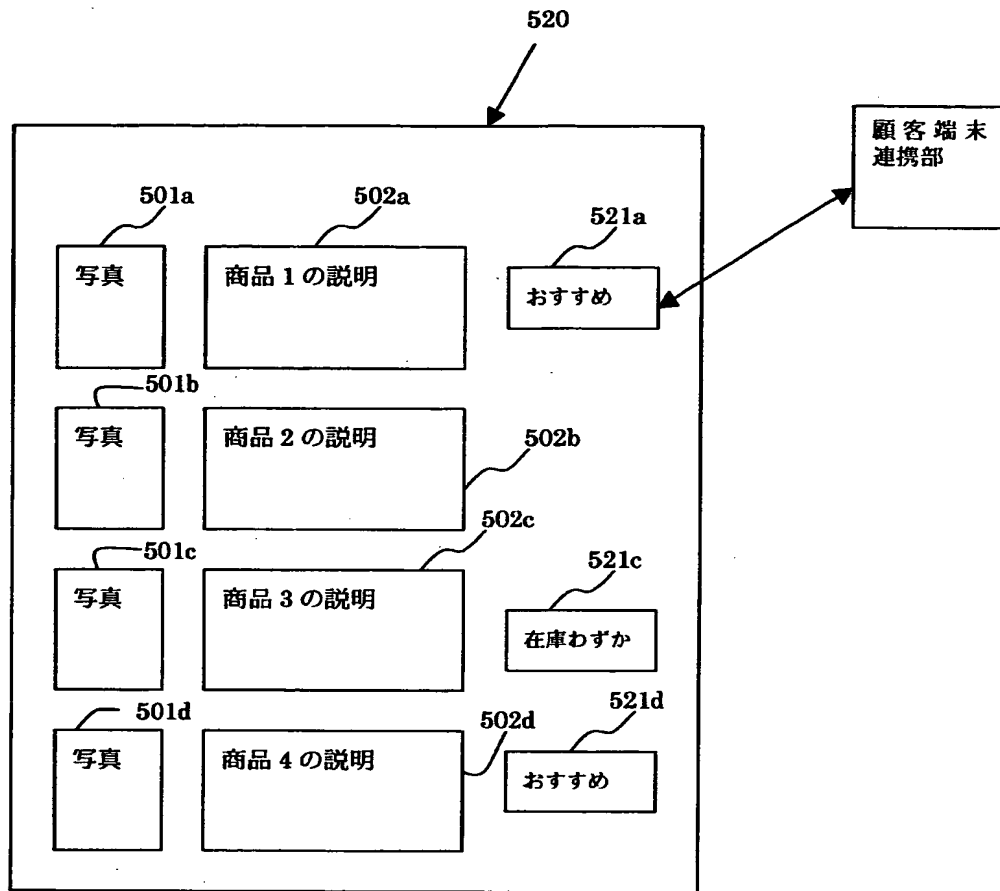
【図 1 3】



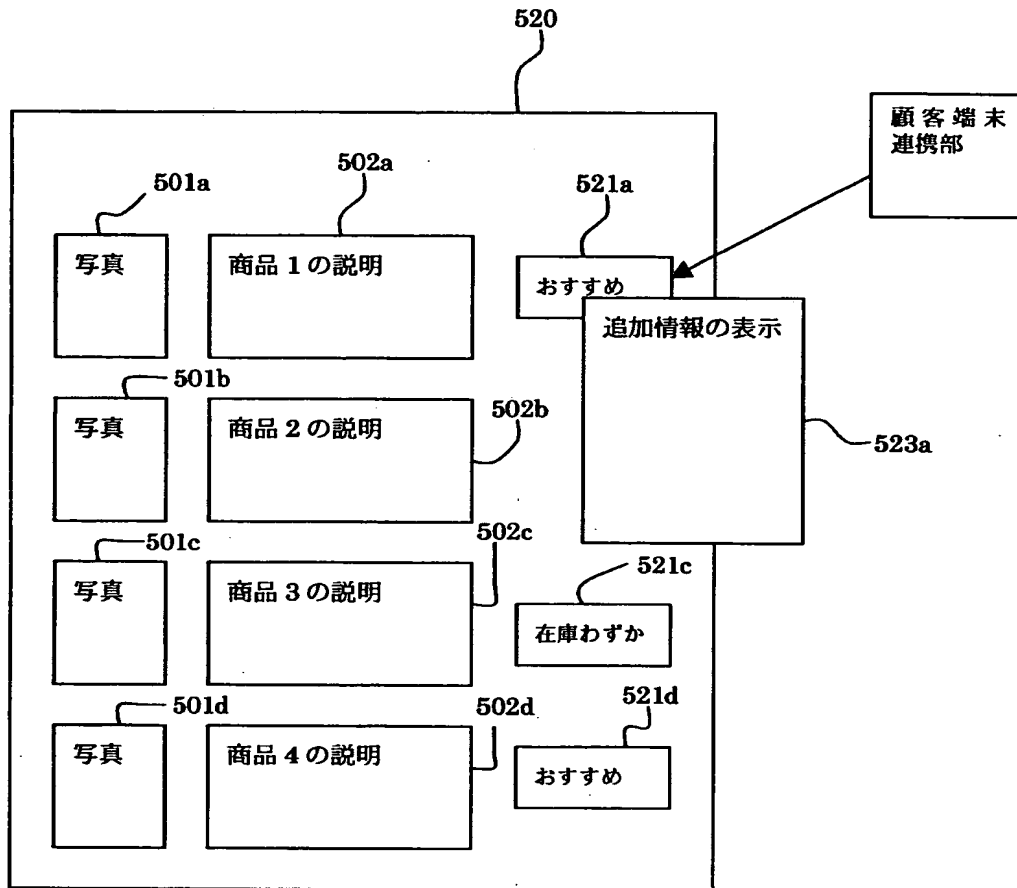
【図 1 4】



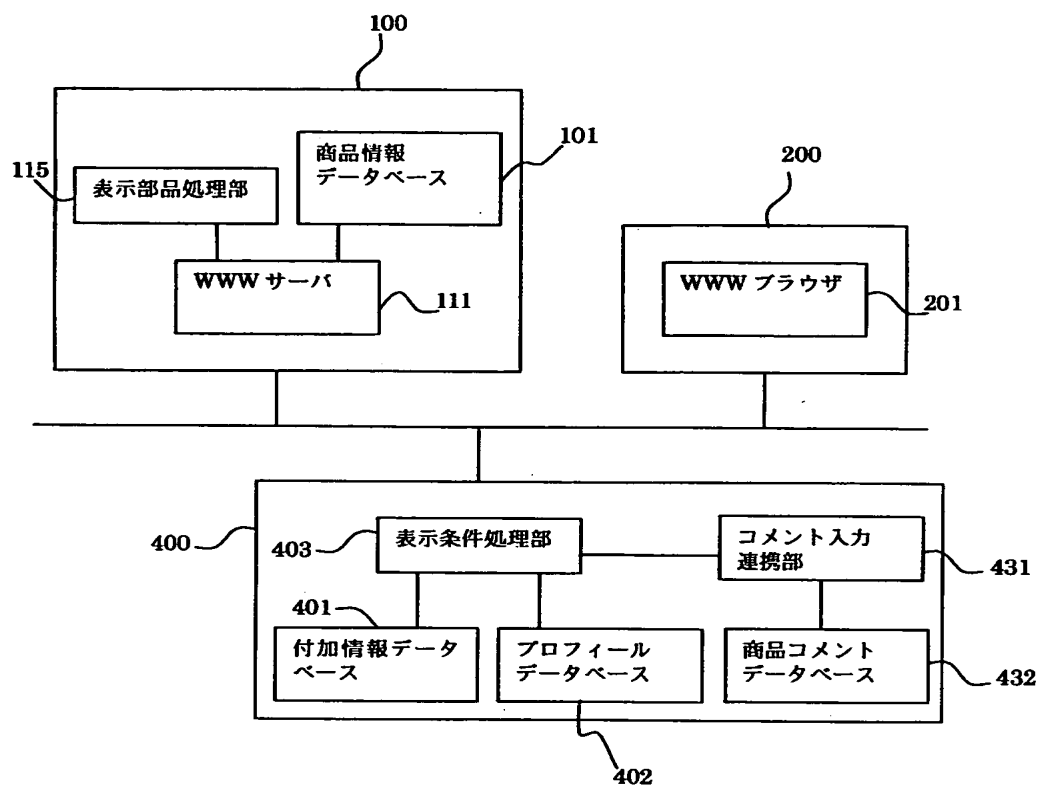
【図 1 5】



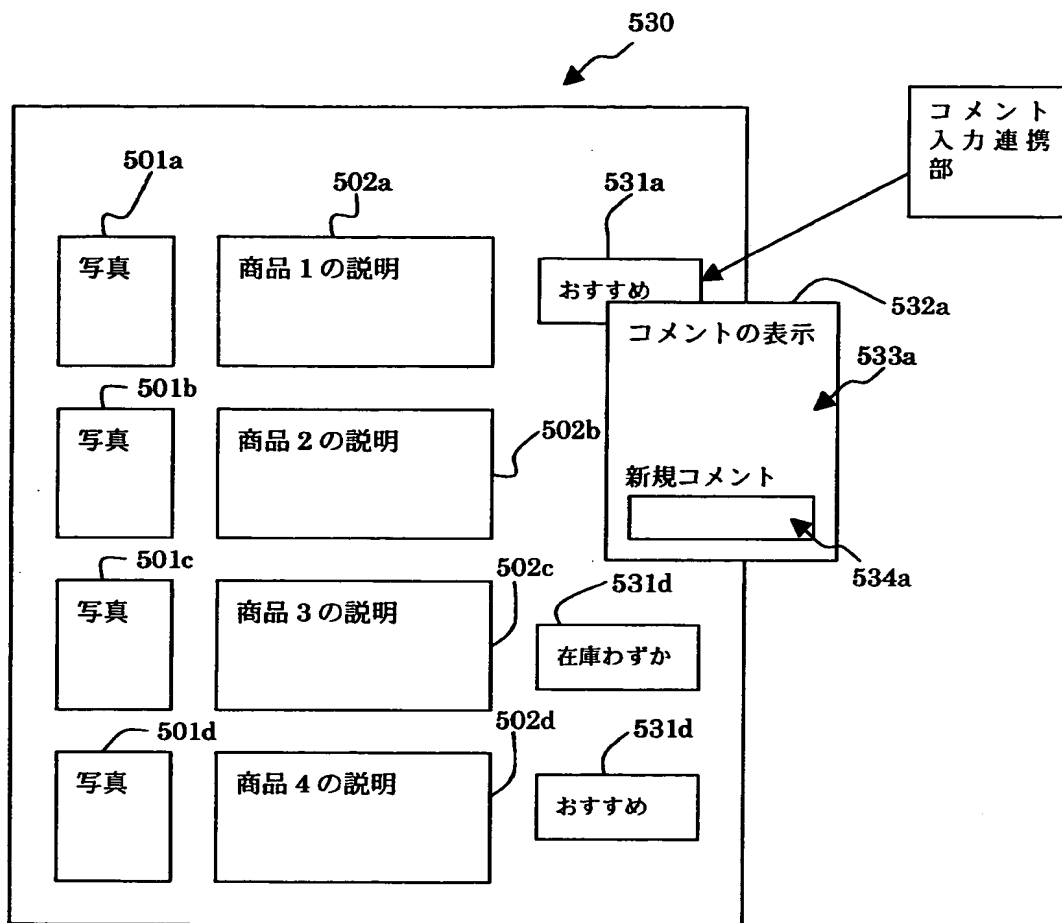
【図 1 6】



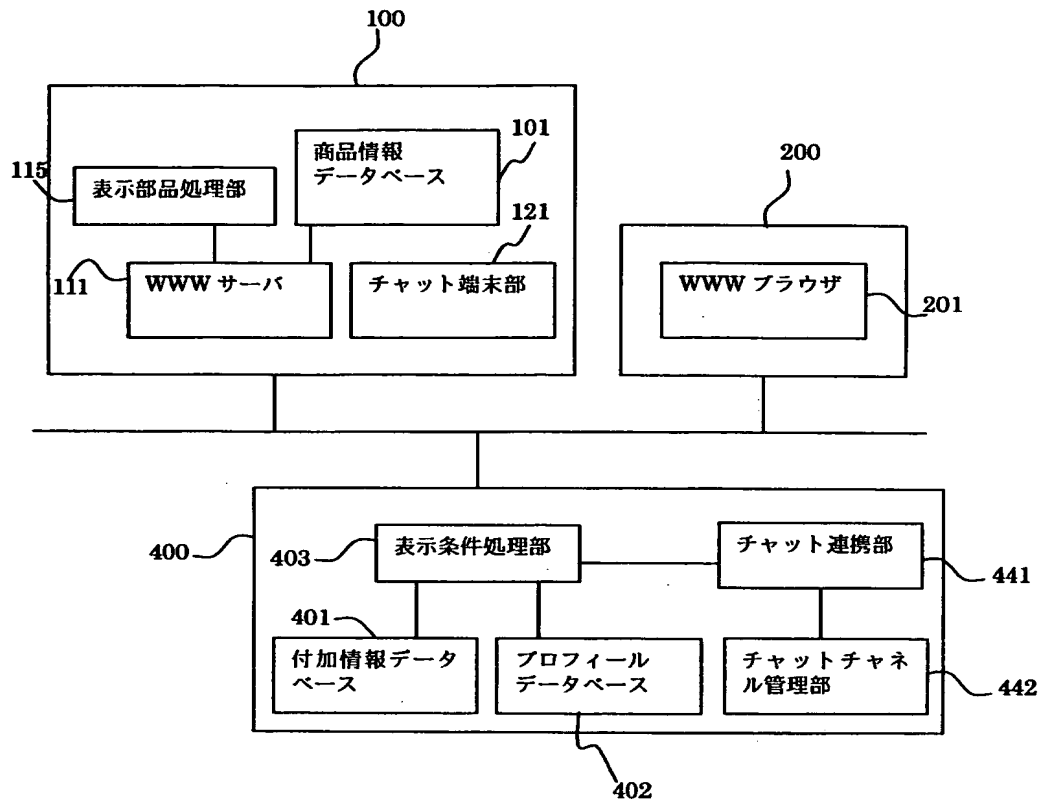
【図 1 7】



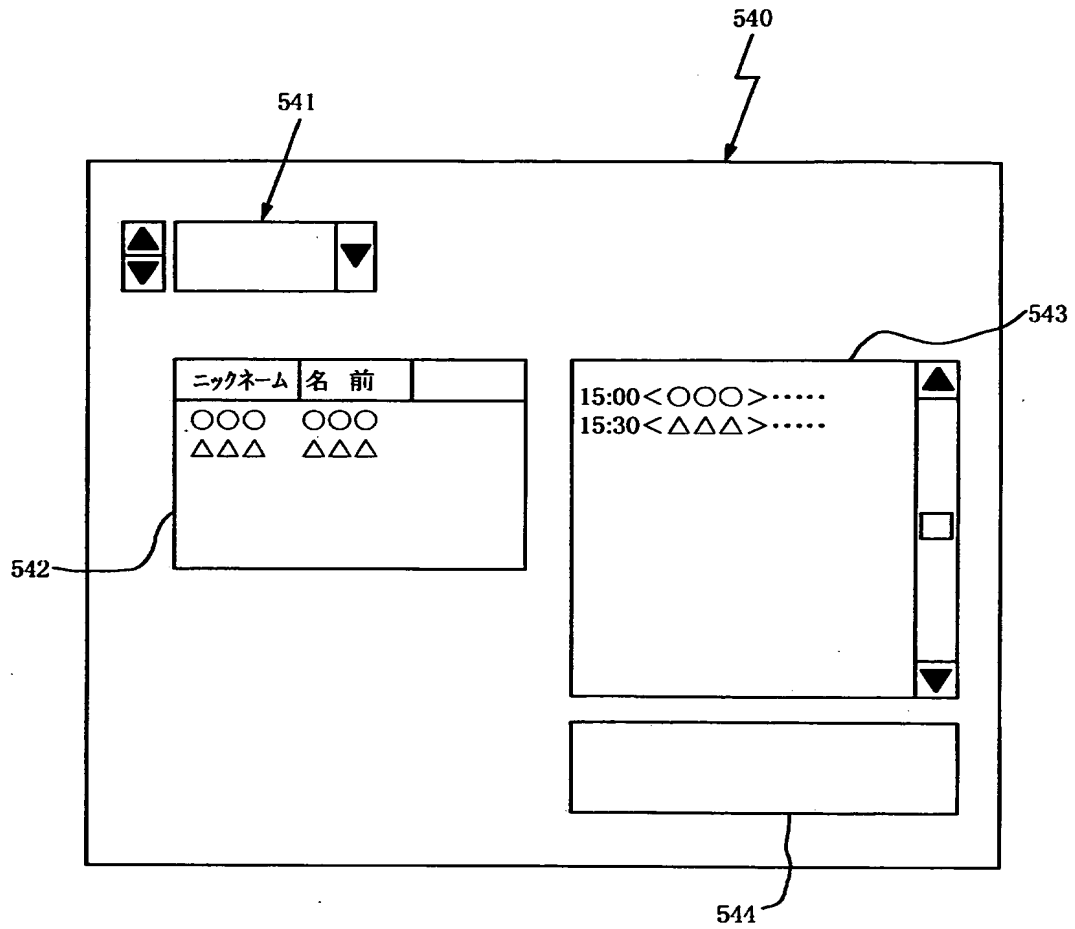
【図18】



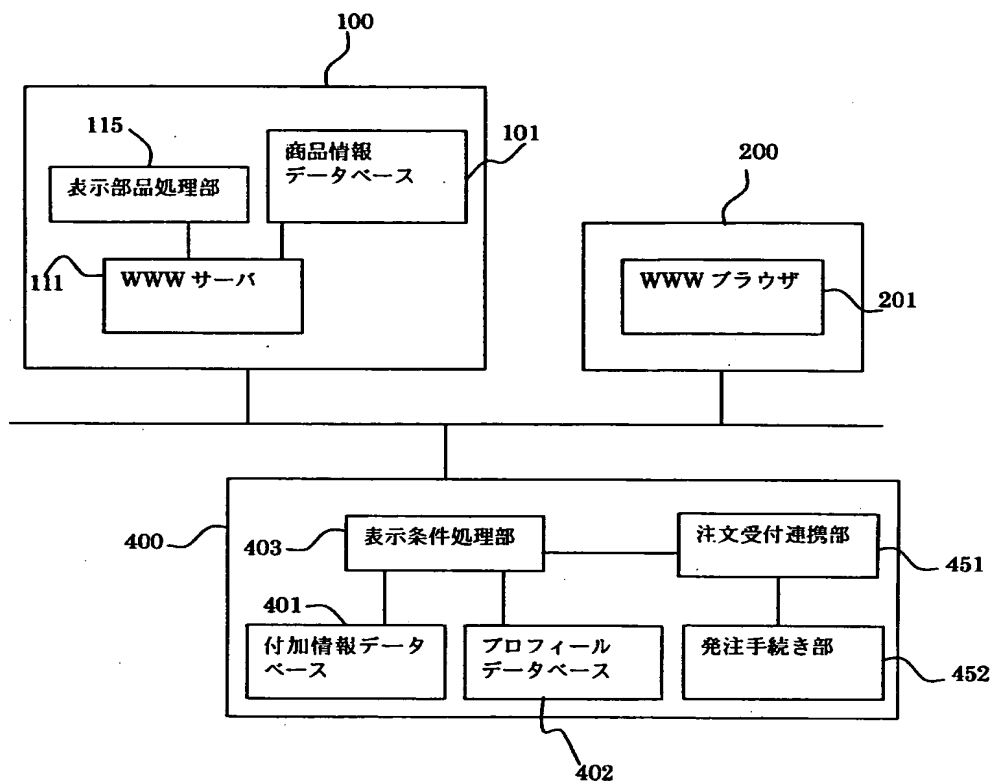
【図 1 9】



【図 2 0】



【図 21】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 商品の付加情報をユーザ毎に変化させて効果的なプレゼンテーションを行うことを可能とした商品情報通知方法および商品情報通知システムを提供する。

【解決手段】 各商品の基本情報を格納する商品情報データベース 1 からユーザが参照しようとしている商品群の基本情報を選択して商品情報提供手段 2 によりユーザに提供するとともに、プロフィール情報取得手段 4 によって取得したユーザのプロフィール情報に基づいて、表示条件処理部 5 が付加情報データベース 3 から対応する付加情報を選択して付加情報提供手段 6 によりユーザに提供する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名 富士通株式会社